台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2022年12月5日号 東京発行 NO.307

発行元：株式会社 臺灣新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 E-mail:info@taiwannews.jp 台灣代表處 新北市林口區文化二路一段 266 號 B1-8 TEL：02-2608-6177

■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350 円（税込） 定期購読 12 回：3,500 円（税込）/NT.1,000

台湾与党が地方選で大敗

6大都市選挙で国民党が優位に（写真提供：中央社）

台湾の22の県・市の首長らを選ぶ統一地方選が11月26日に投開票され、最大野党国民党が15議席を獲得し圧勝した。与党民進党は6から5に1席減り、柯文哲現台北市長率いる民衆党が1席を獲得した。

6大都市選挙で国民党が優位に

人口の約7割を占める6大都市の市長選で、民進党は台南市、高雄市の再選を確保したものの、桃園市で出馬した林智堅が論文剽窃のスキャンダルで退出。それが原因で国民党に逆転を許し牙城が崩された。このほか国民党は台北市と桃園市を8年ぶりに取り戻し、新北市、台中市の再選も果たした。

台北市長選に勝った蔣萬安氏（国民党所属）陣営は、同日台湾時間の19時に勝利宣言を発表し「今回の勝利は2024年の政権交代につながる」と発した。支持者から相次いで歓声を受けた。

一方、陳時中候補（民進党所属）陣営は同時刻に敗選を認め、支持者に「この数ヶ月の支援を感謝する。台北市民の選択が明らかになった。みんなで新市長を支えよう」と呼びかけた。

民進党の大敗を受け、蔡総統が記者会見を行った。「支持者を失望させ、人々の厳しい要求を謙虚に受け止め深く反省する」と述べ、敗戦の責任を引いて民進党主席を辞任した。今回の結果について、専門家らは「景気の低迷と物価の高騰が原因」と指摘している。

激戦区・新竹市長選で民衆党が勝利

6大都市以外で激戦区となったのは、最先端技術産業が集う都市・新竹市。民進党は副市長を務めた経験者沈慧虹を出馬させ、国民党の林耕仁氏と民衆党の高虹安氏との対決を臨んだ。高氏は選挙開始直後から終始民意調査でリードし、民衆党以外に国民党からの支持も取り付けて圧勝した。民衆党は台北市で議席を失ったが新竹で1席を獲得した。

蔡総統が敗戦の責任を引いて民進党主席を辞任した（写真提供：中央社）

高氏は勝利スピーチで「今まで与党によるスキャンダル攻撃を受けてきた」と選挙戦の経過を振り返り「しかし支持者のおかげで耐えてきた」と選挙総部に集まる支持者に感謝した。スピーチ後、高氏の選挙総部では勝利の演奏会を開催し、支持者のテンションがさらに上がっていた。

この結果、台湾北部の県市選では与党の民進党が全て敗退し、勢力圏が牙城となる南部に縮小した。

地方選は総統任期4年間の中間選挙の位置付け。2020年に再選した蔡総統は対米国と日本の交流を深化させ、対中国に距離を置いているが、今回の選挙で中国との関係改善を主張し続けた国民党に敗れた。今回の選挙結果で、2024年の総統選で3回目の政権交代が実現する公算が強まったと見られる。

住民投票（写真提供：中央社）

住民投票が不可決

地方選挙と同時に実施された「選挙権を20歳から18歳に引き下げる住民投票」は、選挙前の民意調査で6割の支持率を得ており、国会では与党民進党をはじめ、国民党、民衆党などの野党が今回の住民投票を支持して可決と見られていた。しかし投票の結果について、同意票が512万票で不同意票の451万票より上回るとしても、可決の条件となる962万票に届かず、不可決となった。この結果に対し、公民団体が憲法解釈を申し込むことを検討すると発表した。

G20で米中首脳会談 台湾問題に合意せず

米中首脳会談（写真提供：中央社）

バイデン米大統領と中国の習近平国家主席は11月14日、主要20カ国・地域首脳会議（G20サミット）の会期中に会談を行った。バイデン氏就任以来両国の間では首脳会談を行っていたが、今回は初めての対面会談だ。緊張関係が緩和したものの、両超大国による対立の状況は変わらない。

両国は対立関係の本質を再認識

公式声明では、両国は今回の会談で対立関係を改めて認識したものの、衝突に発展させるつもりはないと強調した。会談が終わった後、米ブリンケン国務長官は来年に中国を訪問すると発表し、また両国は定期的な対話を再開することを決めた。バイデン氏の話によると、両国の関係は「衝突」でなく「競争」との位置に付けている。

また二つの合意を強調し、一つ目は気候変動対策や食糧安全保障などの協力で、二つ目はロシアによるウクライナ侵攻中に核兵器使用の反対を一致することだ。

台湾問題で溝が深まる

今回の面談に最も注目される台湾問題について、両国の間では明確な温度差がある。今年8月にペロシ米下院院長の台湾訪問をはじめ、米議会の対中国の強硬姿勢が明らかになり、台湾を支持することが民主、共和両党のコンセンサスになっている。

バイデン氏は「一方的な現状変更の試みを反対」と米国の基本国策を強調したが、習氏は「現状を変更しつつあるのは米国側だ」と不満を隠さず、バイデン氏最近の台湾防衛の発言を警戒しているようだ。

会談の成果について、台湾メディアは「口と腹が違う」と評価し、これから台湾海峡における衝突がますます注目されると判断している。

第2回「台米日国会議員戦略フォーラム」 リモート形式で開催

第2回「台米日国会議員戦略フォーラム」が11月16日、リモート形式で開催され、会議に参加した台湾と米国、日本の国会議員らは「理念の近い国々は経済安全保障の面で連携を強化し、覇権主義の拡張に対抗していくべき」と皆が強調。同時に国際社会が台湾海峡の平和と安定への関心をいっそう高める必要性を訴えた。台湾外交部はこれを高く評価すると共に「心からの謝意」を表した。

フォーラムは日本の超党派議員連盟「日華議員懇談会」の古屋圭司会長（衆議院議員）が発起し、昨年7月に第1回が開かれた。今回も日本側が主催し、台湾立法院の議員団体「台日交流聯誼会」で会長を務める游錫堃立法院長と各党派の立法委員が招きに応じて参加した。また、米トランプ政権で国家安全保障問題担当の大統領補佐官を務めたハーバート・マクマスター氏が特別ゲストとしてあらかじめ録画された形でスピーチを行った。

マクマスター氏は「台湾、米国、日本及び基本的価値を共有する国々に向けて、中国による政治と経済面での脅迫に対して連携を強化し、抑止力を高め、中国が武力で一方的に台湾海峡の現状を改変しようとする動きを阻止し、地域の平和と安定を確保するよう」と呼びかけた。

台米日国会議員戦略フォーラムがリモート形式で開催（外交部提供）

フォーラムでは日本の政策研究大学院大学で副学長を務める道下徳成教授と米国のシンクタンク、ハドソン研究所のケネス・ワインシュタイン（Kenneth Weinstein）特別フェローが共同で議長を担当し「工場の建設地選びを通じたサプライチェーンの安定」、「中国が空域を封鎖した場合の航空シミュレーション」など重要な議題について話し合った。参加者はみな踏み込んだ意見交換を行ったが、特にサプライチェーンの「フレンド・ショアリング」（同盟国や友好国など近しい関係にある国に限定したサプライチェーンの構築）が重要な議題となった。このほか、台湾と米国、日本の三者が平時から安全保障問題に関する意思疎通を円滑に行えるパイプを整備し、緊急事態に対応できるようにしておくことで意見が一致、また「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）」に台湾を加入させる必要性も主張した。

フォーラムに参加した国会議員は、台湾の游錫堃立法院長、陳椒華立法委員（＝国会議員　時代力量）、邱臣遠立法委員（台湾民衆党）、陳以信立法委員（中国国民党）、羅致政立法委員（民主進歩党）、米国の Bill Hagerty 上院議員、Jason Crow 下院議員、Brian Fitzpatrick 下院議員、Rob Wittmann 下院議員、日本の古屋圭司衆議院議員、木原稔衆議院議員、大野敬太郎衆議院議員、小田原潔衆議院議員、和田有一朗衆議院議員、関芳弘衆議院議員ら。

「台米日国家議員戦略フォーラム」は台米日三方の国会外交の強化及び台湾と米国など理念の近い国々の交流と協力関係のレベルアップに向けた重要なプラットフォーム。外交部は「これからもこのフォーラムを通じて三者の国会の友好的な結びつきを強化し、我が国と民主主義陣営との実質的なパートナーとしての協力関係を深めていく」としている。

張忠謀 APEC 特使が岸田首相と会談
「台日間の協力深化に期待」

アジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議に台湾の特使として参加している半導体受託生産の大手「台湾積体電路製造（TSMC）」の創業者、張忠謀氏は11月18日、岸田文雄首相と会談した。「日本が国際社会の場で台湾海峡の平和と安定の重要性を複数回にわたって言及している」と感謝の意を表した。

張氏は、岸田氏と世界情勢や台日経済などにおける協力の成果について意見交換した。台湾が加盟を目指す環太平洋経済連携協定（TPP）については、台湾には強い意欲と高いレベルのルールに見合った力があると強調。日本をはじめとする理念の近い国との連携を強化し、共に台湾海峡とインド太平洋地域の平和と安定、繁栄と発展を維持し、促進したいと語った。岸田氏は引き続き経済協力と交流を進めることに意欲を示した。

また張氏はこの日、張淑芬夫人と共にシンガポールのリー・シェンロン首相とも面会。リー氏はフェイスブックに談笑している写真を投稿し、2018年にパプアニューギニアで行われた APEC 首脳会議以来の再会であることに触れ「またお会いできてうれしい」とコメントした。なお、張氏も中国の習近平国家主席と会話を交わし、その内容について「中国共産党第20回大会の成功と自分の健康状況を少し話した」と答え、これについて国家安全会議の徐斯儉副事務局長は「蔡総統は張特使の行動を尊重している」とコメントした。

APEC 首脳会議（写真提供：中央社）

TOPIC

日本語版

●国父紀念館の館長が横浜中華学院を初訪問 3面
●大阪万博、「台湾」名義で参加できず 蘇行政院長「まず存在」の立場強調 3面
●茨城県での学校給食で「台湾産バナナ」の提供拡大 スーパーではフェアも 4面

中国語版

●京都華僑總會首辦太極拳活動 體驗與大地合為一體 8面
●大阪台灣同鄉會交接 謝美香獲肯定接任第十三屆會長 9面
●日本參院新氣象 參政黨新科議員神谷宗幣專訪 10面
●支援地方再生 NPO 舉辦福島台灣交流活動 10面
●僑務委員長童振源專訪 「僑務工作4.0」大解析 11面

WEBでもニュース記事が読めます
https://taiwannews.jp/

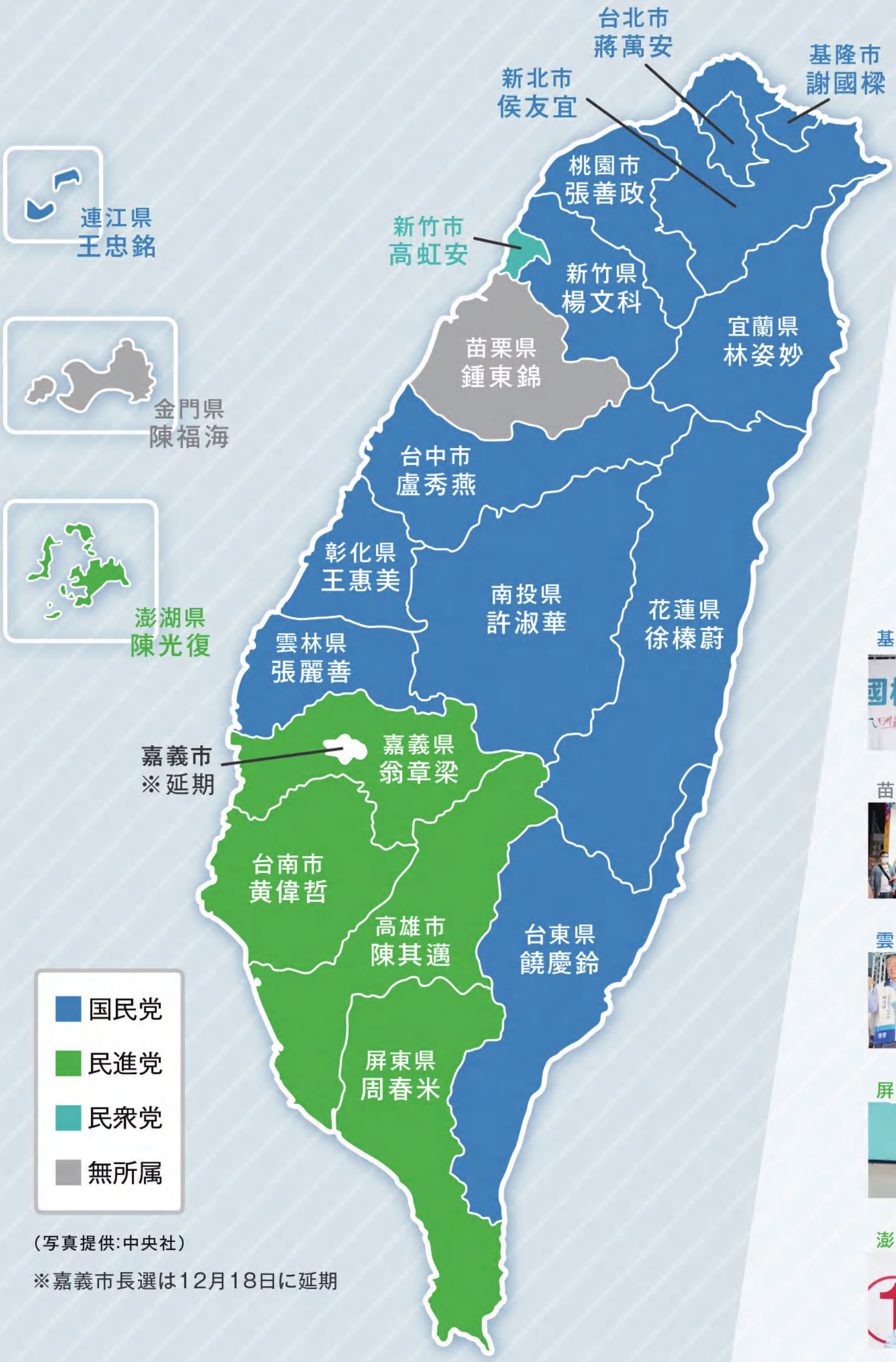
台湾新聞2023年
謹賀新年元旦号
広告ご出稿のご案内

台湾新聞では、来年1月1日に112年目の新年を迎える中華民国(台湾)へのお祝い広告を募集しております。台湾新聞の読者の方々に向け、お祝い広告を掲載しませんか?

▼詳細御希望の方はお気軽にお問い合わせください。

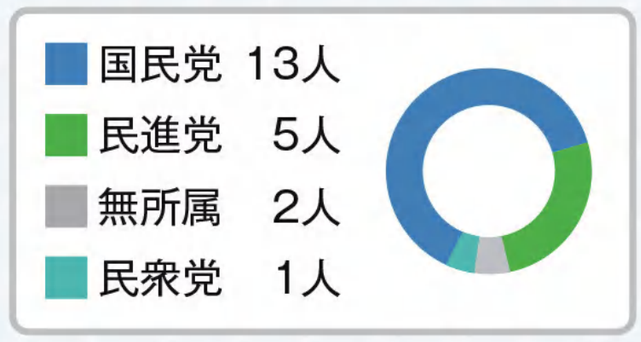
【お申し込み方法】
FAXまたはメール、郵送で弊社までお知らせ下さい。
【お問い合せ・お申し込み先】
臺灣新聞社
TEL:03-5917-0045
FAX:03-5917-0047
E-mail:info@taiwannews.jp
〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4

2022年台湾統一地方選の結果



（写真提供:中央社）

※嘉義市長選は12月18日に延期



台北市 蔣萬安

新北市 侯友宜

桃園市 張善政

台中市 盧秀燕

台南市 黄偉哲

高雄市 陳其邁

基隆市 謝國樑

新竹県 楊文科

新竹市 高虹安

苗栗県 鍾東錦

南投県 許淑華

彰化県 王惠美

雲林県 張麗善

嘉義県 翁章梁

台東県 饒慶鈴

屏東県 周春米

宜蘭県 林姿妙

花蓮県 徐榛蔚

澎湖県 陳光復

金門県 陳福海

連江県 王忠銘

６大都市市長選・当選者のコメント

台北市・蔣萬安氏（国民党所属）

今回の結果は私自身だけでなく、すべての台北市民の勝利です。台北市の栄光の歴史はまた一ページを開きました。これから誰の支持者を問わず、みんなで一緒に台北の建設を頑張っていきたいと思います。

新北市・侯友宜氏（国民党所属）

115万票もいただき、市民たちの支持に感謝の気持ちを申し上げます。この４年間私は包容心で新北愛と台湾愛を呼び出して、中華民国をさらなる団結させることを成功しました。今回の相手である林佳龍氏は私の友人で、先ほど電話を通じました。将来もし彼から良いアドバイスがあれば必ず実現します。

桃園市・張善政氏（国民党所属）

これは桃園市民の勝利です。現任の鄭文燦市長（民進党所属）を含め、歴任の桃園市長に感謝の気持ちを伝えたいです。先ほど鄭文燦市長と市政交代に関して話しました。今は終わるところではなく、新しい始まりです。市民のために明日から精一杯頑張りたいと思います。

台中市・盧秀燕氏（国民党所属）

これは台中市民の勝利です。私自身はこの４年間、台中市民にいろいろなことを教えていただきました。台中市では今まで再選を果たす現任がいなく「スイング・ステート」でも呼ばれますが、これは間違っています。台中市民は判断力で最適任者を選ぶだけなのです。

台南市・黄偉哲氏（民進党所属）

支持率が予想に外して検討する必要があります。今回の勝利は市政チームと選挙チームのおかげです。これから台湾は中央政府と地方政府が一丸となって一緒に進めなければなりません。

高雄市・陳其邁氏（民進党所属）

相手の柯志恩氏と話しました。高雄の発展においてお互いの理解が違っていますが、高雄のためという気持ちは同じです。市民たちから信任をいただき、誠にありがとうございます。今回の選挙に民進党が負けたことから、我々は市民の声を聞かなければなりません。道の先はまだまだ遠いです。

日台共栄首長連盟の第２回総会
謝長廷代表「日台の政府間対話の実現を」

日台共栄首長連盟が第２回総会を開催 謝長廷代表が講演「日台の政府間対話の実現を」

記者会見の記念撮影（写真提供：中央社）

記者会見の記念撮影（写真提供：中央社）

親台湾派の地方首長（市長、町長、村長）で構成する「日台共栄首長連盟」の第2回総会が11月17日、東京都内で開催された。経済・文化面の交流促進を超えて安全保障分野などの日台間の緊密化を目指し、台湾関係法（日台交流基本法）の制定や日台政府間の直接対話などを申し合わせた。総会後、来賓の台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表が「これからの日台関係」と題し講演した。

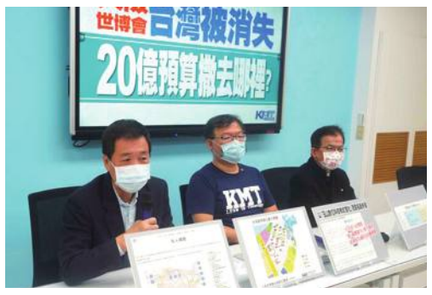
同連盟は昨年12月に発足した。石川県加賀市の宮元陸市長が会長、埼玉県本庄市の吉田信解市長が幹事長を務めている。発足時は129人の首長だったが、第2回総会時には132人に増えた。日本の地方自治体の総数約1700人に相対しても自治体の長の参加が顕著だ。そのなかの約50人がこの日の総会に出席するなど、台湾をめぐる問題への関心の高さが示された。総会には日華議員懇談会の古屋圭司会長（衆院議員）、総会後の懇談会には菅義偉前首相らも出席した。

謝長廷代表は講演で、地方首長の集まりということを念頭に「（自治体同士の地方交流は）草の根の人々の距離が近く、顔が見え、心が通じている。私は地方交流を重視している」と強調した。日台間の姉妹都市などの締結は152あり、半数は謝代表が着任して以来の6年間に締結されたと明かした。その一方で「議員外交、民間交流、地方交流などを進めなければならないが、やはり限界があり、（相互防衛体制を構築するためには）日台の政府と政府が直接顔を向き合わせて協議しなければどうにもならない」と述べ、政府間の直接対話が必要だと強調した。

現在は日本、米国、台湾の安全保障に関する話し合いは、国会議員同士による「日台米戦略対話」にとどまっており、日台の政府間対話の実現は喫緊の課題となっている。ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、中国による台湾への武力行使で「台湾有事」が現実的な可能性として注目されていることから、総会の雰囲気は「台湾有事は日本有事」という安全保障問題が色濃かった。「常軌を逸した中国の行動を許さないよう、力を合わせて中国をけん制していこう」などの声が飛んだ。最後に、台湾本島から約110㌔の近距離にある、いわば最前線に位置する沖縄県与那国島の糸数健一・与那国町長が手締めを行い、総会、懇談会は幕を閉じた。

台湾をめぐってはこの日、岸田文雄首相と中国の習近平国家主席の日中首脳会談がタイで開かれ、報道によると、岸田首相が「台湾海峡の平和と安定の重要性」を習主席に訴えた。また、与那国島に自衛隊機動戦闘車を運び込むなど対中国を念頭にした自衛隊と米軍の共同統合演習「キーン・ソード23」が行われ、台湾問題の重要性を印象付けている。

大阪万博、「台湾」名義で参加できず
蘇行政院長「まず存在」の立場強調



国民党の立法委員は疑問を呈した（写真提供：中央社）

蘇貞昌行政院長（写真提供：中央社）

大阪・関西万博（2025年）に「台湾」名義で参加できないことを巡り、野党・国民党の立法委員が、日本に抗議するよう政府に求める声を挙げた。蘇貞昌行政院長は11月4日、政府として努力しているからこそ大阪万博に参加できるとの見解を示し「まずは存在しそれから先に進んでいく」との立場を示した。

台湾は大阪万博に台湾貿易センター（中華民国対外貿易発展協会＝TAITRA）の100%出資子会社「玉山デジタルテック」（東京都千代田区）を通じて民間枠で参加する。外務省の姫野勉関西担当大使は今年3月下旬、万博への正式参加の条件について、国際博覧会条約に基づき、国や国際機関でなければ参加はできないと報道機関の取材に説明した。台湾は国際組織、博覧会国際事務局（BIE）にも加盟していない。

国民党の林為州立法委員は、同日の立法院本会議で蘇氏に「台湾有事は日本有事と発言した故安倍元首相の言及に触れ、万博の名義でさえも台湾に力添えをしない日本は本当に台湾を支えるのか」と疑問を呈した。その上で「台湾政府が万博の参加名義について日本側に抗議しているのか」と尋ねた。蘇氏は「万博参加と台湾有事は日本有事とは別物」と述べた。「日本は万博の開催国であり、関連の規定を守る必要がある」とした上で「それでも台湾に友好的だからこそ、台湾に存在感を示す機会を提供した」と日本側の対応に理解を示した。また、何も努力せず、外に出ていかないのが最も簡単だと述べ、「まずは存在」してから一歩ずつ歩みを進めれば、必ず目的地に到着できると訴えた。

国父紀念館の館長が
横浜中華学院を初訪問

国父紀念館の館長が横浜中華学院を初訪問（国父紀念館提供）

記念撮影（国父紀念館提供）

国立国父紀念館（台湾台北市）の王蘭生館長は11月21日、台湾と日本の友好関係のさらなる促進のため、同館展覧組組長の楊得聖氏、同館研究典蔵（研究・収蔵）組研究員の鍾文博氏を含む代表団を率い、横浜中華学院（神奈川県横浜市）を訪問した。国父紀念館の代表が横浜中華学院を訪れるのは初めて。

国父紀念館開館50周年と横浜中華学院創立125周年にあたる2022年の今年、王蘭生館長一行が学院を訪れた。羅鴻健理事長、関廣佳副理事長、杜文剣校長に温かく迎えられ、銭婉瑜教務主任から校務について説明を受けた。双方は意見交換を行い、新校舎を見学した。

横浜中華学院は1897年、訪日していた国父「孫文」により、華僑の児童・生徒たちの教育の場として設立されたことから「国父紀念校」とも呼ばれる日本初の中華学校。歴史的に意義ある存在に加え、台湾の教育制度、僑務委員会、台北駐日経済文化代表処とも密接に関係している。

横浜は、孫文が1895年に中国大陸・広州で武装蜂起を企て失敗し、亡命後に初めて訪れた異国の地。孫文は同年11月より1918年6月まで16回に渡って横浜を訪れ、滞在期間は累計8年におよぶ。孫文は横浜で、第１号となる興中会（孫文による革命団体）支部と中華学校を創設し、民族の独立、民主主義の実現に大きな貢献をもたらした。孫文にとって横浜は重要な革命拠点の一つだったと言える。

国父紀念館は、2021年3月に行われた横浜中華学院新校舎落成記念式典の際、台湾と日本の友好の証として、同館が所蔵する孫文の書「天下為公（天下をもって公を為す）」の貴重なレプリカを贈呈した経緯がある。王蘭生館長は「今後さらに多くの交流の場が持てるよう願っている。国父紀念館は、横浜中華学院で貴重なコレクションの展示や学術活動の開催を計画し、両国の交流や実質的な協力を強化したい」と期待した。

「扇形庫」が繋ぐ縁
彰化市と大分県玖珠町が友好交流協定

玖珠町締結調印式の様子

記念撮影

台湾彰化県彰化市（林世賢市長）には日本統治時代の1922年に完成し、台湾に唯一現存する扇形庫（扇形機関庫）がある。扇形庫とは、蒸気機関車を方向転換させる転車台（ターンテーブル）と、それに合わせて扇のように弧を描いた形状に作られた車庫のこと。日本統治時代、台湾には6つの扇形庫があったが、いまでは台湾でただ一つ彰化県彰化市だけ残る。この扇形庫が縁で交流を深めていた彰化市と日本の大分県玖珠町が11月2日、オンラインで「友好交流協定」を締結した。

協定に調印したのは彰化市の林世賢市長と玖珠町の宿利政和町長。このほか玖珠町議会の大野元秀議長、衆議院議員である衛藤征士郎氏の秘書である衛藤陽平氏、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、両都市の交流を仲介した台北駐福岡経済文化弁事処の陳銘俊処長などがオンラインで参加した。

林世賢市長は「新型コロナウイルスのパンデミックにより国際都市間の相互訪問が中断されたが、都市間交流は依然として続いており、そのおかげで同じく豊かな鉄道文化資産を持つ玖珠町と協定を結ぶことができた。陳銘俊処長の熱心な仲介とオンラインを介した謝長廷代表の指導に感謝したい」と述べた。

彰化県彰化市の扇形庫（中国語表記は扇形車庫）と、日本の登録有形文化財に指定されている旧豊後森機関庫（玖珠町）は2019年に「姉妹協定」を結んだ。今年は彰化市の扇形庫が「国定古蹟（国の有形文化財）」に昇格したほか、完成100周年を迎える節目の年であることから、これらを記念して玖珠町と「友好交流協定」を締結することを決めた。友好交流協定には、行政関係者の相互往来に加え、文化、観光、スポーツ、教育交流等における相互交流の促進について協力することが盛り込まれた。

台湾の義勇兵がウクライナでの戦闘で死亡
現地での追悼式に遺族が参列

地元の人々も数百人が自発的に参加する（外交部提供）

追悼式（外交部提供）

台湾からの義勇兵としてウクライナの前線で戦闘に参加していた男性（姓は「曽」）が死亡し、ウクライナ軍部が11月14日、同国西部のリヴィウで追悼式を行った。安全が万全であることを前提に台湾の駐在機関のスタッフが付き添い、この男性の遺族が参列。荘厳な式典が行われる中、会場は悲しみに包まれた。地元の人々も数百人が自発的に参加するなど、この男性に対するウクライナの人々の感謝の気持ちが見て取れたという。

男性が死亡したことが伝わると中華民国政府と国民、台湾で暮らすウクライナ人コミュニティー及びウクライナの各界の友人たちは驚き、その死を惜しんだ。台湾外交部は知らせを受けると直ちに遺族に対して深い哀悼の意を伝えると共に全ての必要な支援を約束。また様々なルートを通じてウクライナ側の関係部署と連絡し、この男性の遺体が適切に安置されるよう要請した。

1日も早く遺族が現地入りし、遺体の確認や葬儀などの手配を行えるよう、外交部は11月7日に旅券など必要な書類を緊急で発給、その日の夜には遺族がウクライナの隣国に向えるよう協力した。遺族が到着すると現地の駐在機関がいくつかの計画を説明し、そのうち遺族の意向に合った計画に沿ってその後の手配を行った。その間、外交部はウクライナ側の関係部署と緊密な連絡を保ち、遺族がウクライナに入国するための査証を速やかに取得出来るようサポート、さらに遺体の搬送や告別式の実施方法などに関する調整を行った。

外交部は11月14日、プレスリリースを発表し「男性はウクライナの前線で勇敢に戦い、命を犠牲にした。外交部は哀悼の誠を捧げると同時に、ウクライナの人々が自由と民主を守り抜くのを助けようとした、この男性の揺るぎのない精神に敬意を表す。外交部は遺族が葬儀など全ての手続きを終えられるよう全力で協力し、遺族にとって最もつらい悲しみの時間に寄り添っていく。同時に、死亡した英霊の1日も早い帰国と安息を祈る」とコメントした。外交部は今後の対応と結果についても適時説明するとしている。

従来版自転車シェアの運用停止
次世代版に完全移行

合同成果展開会式の記念撮影（写真提供：中央社）

台北市政府交通局は11月18日、市内で導入している自転車シェアリング「YouBike」のうち、2012年に試験運用を開始した従来版の「YouBike1.0」の運用を12月3日午前0時より停止すると発表した。2021年より本格運用を開始した次世代「YouBike2.0」のサイクルポートが目標としていた市内1200カ所以上に設置されたことが理由。

同局によると、自転車シェアリングはこれまでに延べ2億人以上が利用したという。次世代型のYouBike2.0は、自転車を停めるドックが軽量化され、従来版で設置が困難だった場所にもサイクルポートの設置ができるなどとして導入が進み、現在、市内1290カ所に増えている。

同市運輸管理科の廖苑伶科長は従来型のYouBike1.0について「運用停止後も大部分のサイクルポートでは12月6日まで、そして新北市から市境をまたいだ利用の多い30カ所では12月9日までそれぞれ返却のみ可能」と説明した。なおそれ以降は、新北市で借りたYouBike1.0を台北市内で返却する場合、350台湾元（約1570円）の回送費を徴収するとしている。

茨城県での学校給食で「台湾産バナナ」の提供拡大
スーパーではフェアも

日本・茨城県での学校給食で台湾産バナナの利用拡大、スーパーでは台湾特産品フェアも

台湾の「香蕉策略聯盟」（バナナ戦略連盟）によるTGAP PLUS（台湾の農業生産工程管理）認証を受けたバナナが11月10日、茨城県の学校給食に提供された。提供先は笠間市、水戸市、ひたちなか市、那珂市、石岡市、潮来市、大子町、八千代町にある39の小中学校と幼稚園。総人数25000人の生徒と園児が給食で台湾産バナナを食した。

笠間市は2019年に行政院農業委員会農糧署と「食を通じた文化交流と発展的な連携強化に関する覚書」を締結。それ以降、茨城県の各自治体が毎年台湾産バナナを購入して学校給食のデザートに利用している。2019年にこの活動に賛同し、バナナを購入した市・町は箇所。対象の子供は1万人だった。

今年はさらに県下の1/5に相当する8つの市・町が参加。また、これまでは各自治体が自主的に参加していたが、今年は県が自治体の意向をまとめる事となった。「香蕉策略聯盟」と笠間市の間を仲介した農糧署は「毎年台湾バナナを食べるという約束が茨城県で広まり、重視されていることがわかる」と歓迎している。

また茨城県では、この活動に合わせて県内の大手スーパーマーケット「カスミ」と提携、5つの市・町の18店舗で台湾バナナを販売し、子どもたちが学校や幼稚園で食べるだけでなく、家で保護者と一緒に味わえるようにした。農糧署は「日本の人たちに台湾バナナを印象付け、その香りと食感、甘さを『脳内に植え付けた』」としている。

このほか、同県ではつくば市のスーパーマーケット「BLANDE（ブランデ）」のつくば並木店と研究学園店で台湾フェアを開催。台湾のパイナップルケーキやタピオカミルクティー、台湾ビール、台湾産の枝豆、台湾製のカップ麺など様々な商品を販売して台湾の雰囲気を演出させ、日本の消費者に台湾製品の知名度も高めた。

笠間市立稲田小学校では11月10日、台北駐日経済文化代表処の李世丙副代表が生徒たちと給食を共にし、交流して台湾と日本の友好的な関係をアピールした。農糧署は「小さいころから台湾の農産物を食べる習慣を身につけてもらってこそ、大人になっても台湾の魅力を覚えてくれる。それは台湾の農産物の海外市場開拓にもつながる」と期待している。

台湾電力と日本の三菱グループが覚書
さらにCO2排出量の削減目指す

台湾電力と日本の三菱グループが覚書、林口石炭火力発電所でアンモニア混焼

林口石炭火力発電所（台湾電力提供）

台湾電力公司と日本の三菱重工業、三菱商事、三菱商事マシナリは11月16日、台湾電力公司が運営する林口石炭火力発電所（新北市林口区）でアンモニア混焼を導入するための覚書に調印した。短期的には2030年までにアンモニア混焼率5％を達成し、年間のCO2排出量を9,000トン削減することを目指す。長期的には混焼率20％を目標とする。

この調印式には台湾電力公司の王耀庭総経理、三菱重工業エナジートランジション＆パワー事業本部長を務める上席シニアフェローの土師俊幸氏、三菱商事株式会社次世代燃料・石油事業本部長の羽場広樹氏、三菱商事マシナリ株式会社代表取締役社長の中島拓氏が参加した。

台湾電力公司によると、三菱重工業と三菱商事マシナリは、林口石炭火力発電所のアンモニアバーナーなど混焼に必要な装置・機器の供給を手掛ける。また、三菱商事はクリーン燃料アンモニアの安定供給確保に向けたサプライチェーンの構築について検討する。アンモニア混焼率5％の目標が達成できれば、林口石炭火力発電所はCO2排出量を年間9,000トン削減することが可能となる。これは、台北市大安区にある大安森林公園23個分の年間CO2吸収量に相当する。

台湾電力公司はすでに、独シーメンスと水素混焼の導入で覚書を締結している。三菱重工業とのアンモニア混焼に関する覚書は、これに続くものとなる。また、今後は米ゼネラル・エレクトリック（GE）とも天然ガス火力発電所にCCUSを組み込む技術に関して覚書を締結し、協力を展開することを検討しているという。

台鉄と西武G姉妹駅締結２周年
萬華駅ー多賀大社前駅と礁渓駅ー伊豆長岡駅

多賀大社前駅にある萬華駅との姉妹締結の表示

萬華駅で行われた姉妹駅締結2周年の式典（台鉄）

台湾交通部、台湾鉄路管理局（台鉄）はこのほど、日本と台湾の2組の駅同士が姉妹協定を締結して11月4日で2年になるのを記念して台湾で記念式典を行った。観光交流をさらに発展させていくことを確認した。

2組は①台鉄の「萬華駅」（台北市）－近江鉄道の「多賀大社前駅」（滋賀県多賀町）、②台鉄の「礁渓駅」（宜蘭県）－伊豆箱根鉄道の「伊豆長岡駅」（静岡県伊豆の国市）。ともに2020年11月4日に姉妹駅の協定を締結した。①は萬華駅は日本人客にも人気の名刹「龍山寺」に近く、多賀大社前駅に多くの信仰を集める「多賀大社」の門前にあたり、「承載信仰」（信仰を支える）というキーワードで決まった。②はそれぞれ礁渓温泉、伊豆長岡温泉という有名な温泉地を有していることから。日本側の２駅は「西武ホールディング」傘下の西武グループに属している。

台鉄によると、同日に萬華駅、礁渓駅でそれぞれ行われた式典には、両駅の駅長、西武グループを代表して西武鉄道台北支社の安田夏樹さんらが参加した。萬華駅での式典は同日午前に行われ、交流の歴史を映像などで振り返った後、折り鶴を折って人々の平安を祈った。続いて同日午後に行われた礁渓駅では、台鉄の鉄道風景を撮影した写真展を開催、台湾各地の絶景を紹介した。

双方とも新型コロナウイルスにより観光客が大幅に減少した。ここにきてコロナが落ち着いたことにより、観光客受け入れを再開し、鉄道の交流をきっかけにした観光促進につながることを期待している。

台鉄と日本の鉄道各社とは2012年に「台鉄CK124とJR北海道C!!SL冬の湿原号」が姉妹SLの締結を交わしたのを皮切りに、姉妹列車、友好協定、姉妹路線、姉妹駅などの締結はすでに27に達している。27は台鉄HPのトップページの右上のLanguageを「日本語」にして「ツアー乗車券」→「国際鐵道観光交流」→「締結の紹介」の順にアクセスすれば閲覧できる。

台湾と宮城の団体が
協定更新で経済関係をさらに強化

記念撮影（工商協進会提供）

台湾と宮城の団体、協定を更新 経済関係をさらに強化へ

台湾の経済団体「中華民国工商協進会」は11月15日、宮城県内の企業や経済団体らで構成する「宮城県国際経済振興協会」と国際協力協定の再調印をオンライン形式で行った。更新は4度目。協力分野の拡大や双方の経済関係の強化、商業、観光、教育の分野での交流の活性化を狙う。工商協進会が同日、報道資料で発表した。

協会は2006年に初めて協定を結び、これまで16年間交流している。協定の期間は4年。資料によると、宮城県は日本東北地方で最も重要な自治体で、仙台国際空港は台湾と東北地方を繋げる橋渡し的な役割も担う。なお、今回の協定で新たに「地方創生及び大学生の研修旅行の強化」を新設した。

オンライン形式で挨拶した台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表は「協定の更新により、台日の様々な分野での交流や協力関係が引き続き深まっていくよう期待します」と述べた。

台中市和平区と長崎県東彼杵町が
オンラインで友好交流意向書を締結

オンライン会議のスタート

調印した意向書を見せ合う岡田町長（上段左）と呉区長（同右）。

台中市和平区と長崎県東彼杵町が11月2日、台北駐福岡経済文化弁事処(陳銘俊処長＝総領事)の仲介により、オンラインで友好交流意向書を締結した。オンライン会議で陳総領事は「今日は大分県玖珠町と彰化市の姉妹提携・友好交流締結式に続き2件目となる台中市和平区と長崎県東彼杵町の友好交流意向書の締結式に立ち会うことが出来、これほど嬉しいことはない」と挨拶した。さらに「東彼杵町は何度か訪問した場所であり、美味しいお茶を飲み、珍しいクジラ肉を食べた印象が残っている。一方、和平区の梨山地方は高校卒業後にアルバイトをしたこともあり、大変懐かしい思い出の場所」とのエピソードを披露。両地がお茶という共通の特産品を通じて交流を始めることへの祝意をのべるとともに、これがきっかけとなって、さらに他地域でも同様の交流が生まれることへ期待した。

次いで東彼杵町の岡田伊一郎町長が町の特長と和平区との交流への期待について「東彼杵町の面積は74.29平方キロメートル、人口は7,500人という小さな町であるが、美しい景色と交通の便の良さが自慢である。長崎空港に近く、高速道路、新幹線なども走っており、長崎市や佐世保市まで約40分、 福岡市まで1時間30分という便利さである。農業が盛んで、苺・アスパラガス・みかん・肉用牛・お米などが並ぶ『道の駅』には町内外から年間100万人のお客様が来店する。しかし何と言っても胸を張れるのは『そのぎ茶』という銘柄のお茶で、産地ごとに品質を競う全国大会では、最高賞である農林水産大臣賞を今年まで通算5回受賞している。台中市和平区には『梨山茶』という有名なお茶があると聞いているが、ぜひ両地のお茶とその文化を通じて交流を深め、さらに他の産業や、文化、教育など様々な振興に繋げていきたい」と述べた。

次いで台中市和平区の呉万福区長が「『そのぎ茶』というブランドを持つ東彼杵町と交流することができるのは大変光栄だ。和平区には大雪山国立森林遊楽区、谷関七雄歩道、 谷関温泉などの観光名所があるが、農産物でも、桃、りんご、甘柿、梨など、梨山の産品が多い。特に『梨山茶』については、2016年から区役所が先頭に立ってその品質を維持するために、『梨山茶原産地認証マーク』の使用を推進している。産地認証シールを付けるためには、厳格な残留農薬の検査と品質管理に合格する必要があり、今やこのシールが梨山茶を購入する消費者に安心と美味しさを保証するものとなっている。和平区と東彼杵町には美しい自然を始めとする多くの共通点があるが、最大の共通点は良質で美味しいお茶であり、これこそが交流の扉を開くきっかけになったと考えている。今後は両地域が持つお茶の文化を通じた交流を深め、お互いの国際舞台での知名度を向上させることを心から期待する」と述べた。

両地域の町長、区長による挨拶と意思表示の後、意向書の締結・調印に進み、オンライン上で意向書を確認した後、陳総領事から関係者の相互訪問支援などの意向が示され、画面を通じた集合写真撮影を経て締結式を終了した。

台湾で駅弁フェスに日本の鉄道会社も
特急電車型容器の弁当に行列

台湾で駅弁フェス 日本の鉄道会社も参加 特急電車型容器の弁当に行列

鉄路便当節開催式の記念撮影（台鉄提供）

台湾交通部、台湾鉄路管理局（台鉄）が主催する今回で7回目の「鉄道弁当フェスティバル」（鉄路便当節）が11月11日、台北市の台北駅で始まった。新作弁当が販売されたほか、地方自治体や日本の鉄道会社も参加し、会場は多くの人でにぎわった。台鉄は「様々な種類の弁当だけでなく、観光旅行やクリエーティブ関連商品も販売し、異なった鉄道の旅やグルメ、文化を体験できる」とアピールした。

台鉄は今回初めて新型特急EMU3000型電車をかたどった容器の弁当2種類を販売。購入のために午前6時過ぎから市民が列を作った。また台湾高速鉄道（高鉄）は12月から販売される弁当を紹介して注目を集めた。

開幕式典で王国材交通部長は「鉄道弁当は旅行と飲食文化が融合し、鉄道の旅をより豊かにしてくれている」と挨拶。「台鉄の鉄道弁当は1949年から販売し、すでに73年の歴史があり、多くの人の思い出になっている」とアピールした。

なお、台鉄の駅弁の象徴的存在として知られる八角形の形をした木製の弁当箱が取り扱い終了となるという。台鉄によると「製造のコストが高いことと環境に配慮した上での決定ですでに調達した分を最後に販売を終了する」としている。

Digest News / November 2022

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

Nov.2 嘉義市長選で立候補者が死去

11月26日投開票の台湾嘉義市長選に立候補していた無所属の黄紹聡氏がこの日、市内の嘉義キリスト教病院で死去した。享年72歳。黄氏は会計士で、長期にわたって廟（びょう）の運営に尽力。「地目に関する問題を迅速に解決しなければならない課題」などとして立候補していた。同市選挙委員会は「公職人員選挙罷免法第30条では、市長選立候補者が投票日前に死亡した場合、その地域の当該選挙を中止し改めて実施することが定められている。再度立候補の届け出や番号を決めるくじ引きなどの手続きを行う必要がある」とした。同市長選には黄氏を含む6人が立候補していた。

Nov.3 秋の外国人叙勲受章で台湾人三人が受勲

日本政府は2022年秋の外国人叙勲受章者を発表した。台湾からは3人が日台間の友好関係の増進に顕著な功績があったとして選ばれた。台湾の非政府組織（NGO）、中華文化総会の副会長として日台文化交流を推進し、日台友好に寄与した江春男氏に3人の受章者のうちの最高位「旭日中綬章」が贈られた。翻訳家の頼明珠氏は、村上春樹作品に関連するさまざまな文化現象が台湾に定着するのに貢献したことなどが評価され「旭日双光章」を、日本台湾交流協会台北事務所の元現地職員の蔡少卿氏が「瑞宝双光章」を受けた。蔡氏は30年1カ月余りにわたり同事務所で広報文化に関する業務を担当したほか、他の現地職員の指導にも当たった。交流協会はこの日の報道資料で、日台関係の発展のために長年にわたり献身的な尽力をしてきた受章者の貢献に衷心の敬意と謝意を表した。

Nov.4 マスターボール型立体ICカードが登場　決済時緑色に発光

交通系ICカード「イージーカード」（悠遊卡）はこの日、人気ゲーム「ポケットモンスター」シリーズに登場するアイテム「マスターボール」型のイージーカードを販売すると発表した。同社はポケモン社とコラボレーションし、2019年からゲームに登場するボール型立体カードの販売を開始。これまでにモンスターボールやハイパーボール、スーパーボール型カードを販売している。「マスターボール」型カードを読み取り機にかざすと緑色に光るという。予約の受け付けは台湾発のグローバル通販サイト、Pinkoi（ピンコイ）で11月13日までだった。

マスターボール型立体ICカード（写真提供：中央社）

Nov.9 林威助監督率いる中信がV2達成

台湾プロ野球の年間王者を決める台湾シリーズ第4戦が台中市の台中インターコンチネンタル球場で行われ、元阪神の林威助監督率いる中信ブラザーズが楽天モンキーズを3-2で破り、4連勝で2連覇、9度目の年間優勝を果たした。初回に1点を先制した中信。二回表に同点に追いつかれるも、二回裏には9番・岳東華の適時打などで1点勝ち越した。六回は3点目を奪ってリードを広げた。八回途中から2番手として登板した元阪神の呂彦青が2回無失点で今シリーズ3個目のセーブを挙げ、胴上げ投手にも輝いた。中信は、林が指揮官に就任した昨年も統一ライオンズとの台湾シリーズを4連勝で制している。林はシリーズ8連勝を飾った最初の監督となった。

中信がV2達成（写真提供：中央社）

Nov.10 「水占みくじ」で日本の風情を　訪日旅行を疑似体験

日本統治時代建設の水道施設跡を利用した台南市の台南山上花園水道博物館で、白紙のおみくじを神水に浸すと運勢などの文字が浮かび上がる「水占（みずうら）みくじ」の提供がこの日開始した。敷地内にはししおどしなどもあり、日本にいるような雰囲気を演出している。同博物館の関係者によると、京都で水神を祭る貴船神社で同様のおみくじが提供されていることにあやかったという。同博物館に神社はないが、戦後に建設され、国定古跡の付属建築に登録された「工具室」と呼ばれる建物を改装。すでに「愛はすぐにやってくる」と書かれたおみくじを引いた来館者が、その後意中の相手から告白されたという報告も寄せられたとしている。

水占みくじ（写真提供：中央社、台南市）

Nov.14 一週間当たりの入国者数の上限引き上げへ

台湾中央感染症指揮センターは、1週間当たりの入国者数の上限を現行の15万人から20万人に引き上げると発表した。12月1日より実施する。各国や台湾の水際対策緩和や、海外のクリスマス休暇や2023年1月の春節（旧正月）連休に出入国の需要が増大することを考慮した。指揮センターの王必勝指揮官は「水際対策緩和や入国者数増加に伴い、引き続き新型コロナウイルスの変異株の検出状況や感染状況の動向を緊密に観察していく」と強調した。

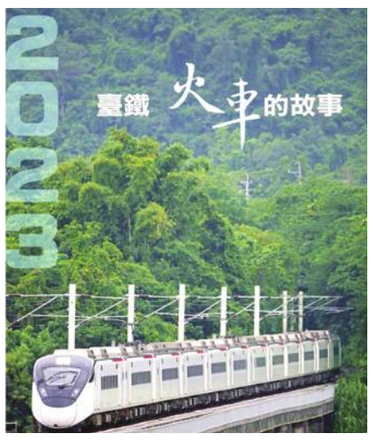
Nov.14 楽天宋投手が永田颯太郎内野手ら後輩を激励

大学野球の台湾一を決めるUBL大学野球選手権大会が11月22日より台東県で始まった。PR記者会見がこのほど台北市内で開かれ、出席した東北楽天ゴールデンイーグルスの宋家豪投手は「自分には必ずできると信じなければ」と後輩たちを激励した。台湾の大学野球のレベルアップを目指すために毎年行われる大会で、今年は98校から計124チームが参加している。宋家豪は10月に楽天から育成4位指名を受け、この日の会見にも招かれた国立台湾体育運動大（台中市）の永田颯太郎内野手について「自身が歩んだ道によく似ている」と指摘。「育成は待つことが必要ですぐに最高の結果を出すことはあり得ない」と話し永田を励ました。宋は2015年、楽天と1年間の育成選手契約で合意したことが発表され、2017年に支配下登録された。

宋投手（右）と永田内野手（左）（写真提供：中央社）

Nov.17 23年版カレンダーは「台鉄列車の物語」がテーマ

台湾鉄路管理局（台鉄）はこの日、2023年版カレンダーの内容を公開した。近年台鉄が導入した新型車両や引退した車両の英姿の他、新旧車両がずらりと並ぶ写真が収録されている。23年版カレンダーのテーマは「台鉄列車の物語」。台鉄はカレンダー撮影のため、最新型の特急車両「EMU3000型」や通勤型車両「EMU900型」、豪華観光列車「鳴日号」、30年以上の歴史を持つ「EMU300型」「EMU100型」の5つの列車を基隆市の七堵操車場に集結させた。旧型客車を再利用した観光列車「藍皮解憂（憂さ晴らし）号」や「赤いシマウマ」（紅斑馬）の愛称で親しまれ、今年3月に引退した特急車両「EMU1200型」のラストランの写真なども収められた。23年版カレンダーは11月18日発売。600冊限定で1冊250台湾元（約1120円）。



23年版カレンダーのテーマは「台鉄列車の物語」（台鉄提供）

Nov.17 弘前市のフェアが台湾各地で始まる

青森県弘前市の文化物産フェアが台湾各地にある遠東グループの百貨店で開催されている。台中市にある「台中大遠百」でこの日開幕式が行われ、弘前市の桜田宏市長が同市産食品のおいしさをアピールした。フェアは今年で11回目の開催。桜田氏はリンゴだけでなく、リンゴのジュースやお菓子、世界自然遺産白神山地の水、青天の霹靂（へきれき）と呼ばれるコメの他、多くの物産を持ってきたと商品を説明。購入を呼びかけた。また今年のリンゴについて「とてもおいしい」と強調したほか、台中市を拠点とする高齢者福祉団体に同市産のリンゴを寄贈した。12月4日まで。

弘前市のフェア（写真提供：中央社）

Nov.19 APEC 台湾代表の張忠謀氏が習主席と会話

アジア太平洋経済協力会議（APEC）の首脳会議がタイ・バンコクで閉幕した。蔡英文総統の代理として出席した張忠謀氏（91）はこの日「会議初日の11月18日に中国の習近平国家主席と会話した」と明かした。19日夜に開いた記者会見で述べた。張氏によると、2人は18日午前、休憩室であいさつを交わし、張氏が「昨年股関節の手術をした」と話すと、習氏は「今は元気そうで何よりです」と応じたという。「習氏に台湾海峡情勢への関心は」との質問をしたか否かについては「いいえ」と答えた。また19日にハリス米副大統領と会談したことについては、副大統領は半導体大手の台湾積体電路製造（TSMC）によるアリゾナ州での工場建設を歓迎するなど「台湾を支援する米国の決意を改めて示された」と話した。張氏はTSMCの創業者。APEC台湾代表に選ばれるのは2006年以来6回目で、蔡政権が発足した16年以降では5回目。

Nov.22 慰安旅行支援策を推進 観光局が助成で手応え

台湾交通部観光局は目下、海外企業による台湾への慰安旅行支援策を推進している。同局はこの日報道資料を出し、新型コロナウイルス後、最初に同局の助成を受けた日本企業の社員が11月に台湾を観光した事を明らかにした。同局の報道資料によると、慰安旅行に訪れたのは埼玉県の建設会社。11月中旬より12月上旬にかけて100人近くの社員が4グループに分かれて台湾を訪れる。同社の社長は11月22日観光局を訪問。「海外への慰安旅行は初めてでその行き先に台湾を選んで良かった」と語った。同局は、慰安旅行支援策以外にも、複数の日本の旅行会社を視察に招いており「12月には修学旅行の企画担当者が台湾を訪れる予定」と明かした。

Nov.22 陸軍大佐を起訴「中台降伏承諾書」に署名で賄賂

台湾高雄地方検察署（地検）はこの日、陸軍の向徳恩上校（大佐）を収賄などの罪で起訴した。「両岸（台湾と中国）の平和的統一を支持する」などと書かれた「降伏承諾書」に署名し、総額56万台湾元（約255万円）を受け取ったとされる。起訴状によると、すでに中国に取り込まれていた退役軍人から昇進できると誘いを受けた。文書に署名した後、この退役軍人が中国・アモイに行き、金銭授受の手続きを行った。2019年10月末から今年1月にかけて、毎月4万元（約18万円）を受け取っていたとみられる。台湾国防部は11月22日、事件を受けて報道資料を出し、中国共産党による台湾での統一戦線工作はすでに重大な脅威となっていると指摘。教育を引き続き強化し、安全に関する調査も行っていくとした。

Nov.22 清朝時代の建設物のパンフを配布　音声ガイドも

台湾台南市政府文化局は、清朝時代に建設された砲台、億載金城で、台湾語（ホーロー語）で表記したパンフレットの配布開始を発表した。台湾語の音声ガイドも併せて提供し、観光客に台湾語を通じて台南の歴史と文化を知ってもらうのが狙い。億載金城は1876年に完成。台湾初の洋式砲台で、国定古跡に登録されている。同局によると、台湾の古跡で台湾語のパンフレットが配布されるのは初めて。打狗台語文促進協会と協力して作成し、歴史の紹介や地図を組み合わせた詳細な解説などを台湾語で表記したという。音声ガイドはパンフレット上のQRコードをスキャンするとオンラインで利用可能。「台湾語の美しさと古跡の歴史文化を感じてもらい、台湾語を使う機会を増やし、生活に密着した環境をつくりたい」（同局）とアピールした。

台湾語で表記したパンフレット（写真提供：中央社、台南市）

Nov.23 雲林県斗南産の契約栽培米が豪州に輸出「台湾産米の輸出拡大に期待」

豪州に輸出する台湾雲林県斗南産の契約栽培米の第1便出発式がこの日、斗南鎮内で開かれた。式典に出席した台湾行政院農業委員会の陳吉仲主任委員は「台湾産米の輸出拡大に期待する」と話した。式典を開いた斗南鎮農会の担当者は「斗南産のコメが豪州に輸出されるのは初めて。順調にいけば今後1年間で400トンを輸出する見込み。現時点での輸出先は現地の日本料理店で、すしに使われる」という。輸出に当たっては、農業委員会がコメの選別機や生産履歴に関する政策などで同農会を支援した。輸出に協力した台湾優米実業の陳建彰総経理は「台湾産米の品質は日本産米に劣らない」と話し、豪州と英国、欧州連合（EU）諸国のつながりを通じて台湾産米が世界に広まっていくよう願った。

出発式の記念撮影（写真提供：中央社）

Nov.26 10月の桃園空港利用者が前年同期比870%増

桃園国際空港の運営会社はこの日に発表した報道資料で「今年10月の利用者数が延べ67万1000人に達した」と明らかにした。前年同期より870%増えた。航空会社などが人材を募集し、専用ページを設けた事が功を奏したと見られる。新型コロナウイルスの水際対策の緩和が進む台湾。10月13日には入国後の隔離が撤廃され、団体旅行客の受け入れが再開された。同社によると、今年1～10月の利用者数は前年同期比262%増の延べ271万人で、9カ月連続で増え続けた。1年を通しての利用者数は延べ400～450万人に達する見込みだという。なお、人材募集の専用ページでは、航空会社や免税店など12企業・機関が求人情報を掲載。航空整備士やグランドスタッフ、免税店の販売員などを募集している。

桃園空港（写真提供：中央社）

1年間の台湾インターンシップ生受入企業募集中

グローバル化に対応した台湾人の人材を活用しませんか？

※社宅など不動産の協力が必要の場合、バックアップさせて頂きます。

近年日本ではインバウンド事業が盛んとなり、グローバル化により外国人人材の需要が求められています。台湾には、将来性ある優秀な台湾学生が多く、その人材を活用する事で、グローバル化する日本社会に対応する事ができます。

臺灣新聞社では、台湾のインターンシップ生を必要とする企業様を募集し、グローバル人材の活用をサポートします。契約期限は1年間ですが、その後正社員雇用も可能です。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

臺灣新聞 TAIWAN NEWS ◆東京發行
お問い合わせ先
☎03-5917-0045 〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4
📠03-5917-0047 ✉info@taiwannews.jp

台湾新聞

《台灣新聞》為民營媒體,非政府發行刊物,以中立立場報導所有台灣和日本最新資訊。所有新聞報導和新聞照片,非本公司同意,嚴禁轉載刊登。《台灣新聞》同時提供報導資料銷售服務,如個人、團體有需要,敬請多多利用並洽《台灣新聞》。此外,個人、僑社團體或企業有採訪需求、活動企劃、平面設計和廣告刊登等媒體服務,歡迎直接洽詢《台灣新聞》。

「台湾新聞」は民間企業運営による媒体です。政府の刊行物ではありません。あくまでも中立の立場より、台湾と日本の各種の最新情報を報道しています。本紙に掲載しているすべての報道内容及び写真は、当社の承諾を得ない転載などは禁止します。一方、台湾新聞は報道資料の販売などのサービスを提供しています。必要な個人及び企業、団体の皆様は当社へお問合せください。また、イベント企画、デザイン、レイアウト、広告掲載等のご依頼がございましたら、ぜひ当社にお問合せください。「台湾新聞」社は以下の有料サービスも提供しております。ご活用ください。

《台灣新聞》提供以下付費服務：
●企業廣告配合、僑社活動採訪 ●僑社團體網路部落格設計（包含台灣新聞採訪報導使用權費用） ●採訪照片提供 ●企業網站設計服務
●企業広告、華僑会社イベント取材 ●華僑会社団体インタネットブログ設計（台湾新聞取材報道、使用費用権を含む） ●取材写真提供 ●企業ホームページ設計サービス

欲合作企業、僑團請逕洽《台灣新聞》
03-5917-0045或info@taiwannews.jp

記者随想　記事では読めない裏側「知られざる福島」

▽8年間に閉鎖されてシェアオフィスに転身した小学校から見た景色

▽大熊町の新しい町場

福島と台湾のビジネスフォーラムに参加して、初めて福島に訪れました。台湾人に福島へのイメージを聞くと、「原発事故」、「日本の東北地方の一部」しか印象がなく、東日本大震災の復興に台湾人がたくさんの寄付金を寄贈しても、福島の実態はまるで未知の謎のようなものです。

実は私もその一人でした。来日前に何回も家族旅行や友達との旅行で日本に来ましたが、旅行先はやはり東京や京都のような観光地で「福島に行こうか！」の考えは一切しなかったです。しかし今回の機会を通じて今まで全然詳しくない福島のことを知りました。

福島、実は大きくて豊かな歴史を持つ

福島の面積は日本の都道府県の広い順に北海道、岩手県に次ぐ３位で、その広さは台湾の３分の1にも及びます。東西に広く、さらに海岸や山地の地形装飾を受け、標高差も大きいため同じ県内であっても気候差は大きいです。西から順に「会津」と「中通り」、阿武隈高地の東側の「浜通り」の三地域に別れています。

日本の歴史をみても福島は鎌倉時代から中華圏でも有名な伊達氏、会津松平家をはじめ多数の名門が活躍し、相馬野馬追や鶴ヶ城など様々な文化財が残り、まさに「侍のふるさと」と呼ばれてもよいでしょう。

復興への道を歩む

福島県は東日本大震災において浜通りを津波が襲い、特に双葉郡大熊町に福島第一原子力発電所の事故に被害が及んで町民が撤退せざるを得なかったことになりました。それから当地が「帰還困難区域」に指定され、約10年間にわたって住民の立ち入り・一時帰宅が禁止されました。

私が訪れたのは、その大熊町でした。2020年3月に大野駅周辺の避難指示を解除してから、今年の６月には「特定復興再生拠点区域」として大熊町全域が開放されました。常磐線特急で大野駅に着いた時、無人駅でありながら駅の新しさに驚きました。駅では全域の放射線情報を追跡しており、調べてみたらほぼ全町の放射線がほかのところと同じレベルとなっています。

今回イベントの開催地「linkる大熊」がちょうど町役場の隣で、そこを眺めてみたら、壁に木の色で温かい感じを与えられ、屋根が穏やかな青色で立派な建物でした。大熊町では震災による損壊の片付けや新しい建物の建築を経て、町の再生を始めているというのです。

また町の公式ホームページには、復興の情報と移住支援の紹介が載せられ、住民の呼び戻しと若い者の移住に仕掛けています。ここまで震災に一番影響された場所で、やっと復興への道を歩み始めました。

台湾とのつながりを期待している住民たち

今回の交流会で色々な住民と接触しました。私がびっくりしたのは、福島出身の人と移住者の比率が１対1で、福島の再生に力を入れたいと思ってここに来た人がたくさんいます。

彼らに台湾へのイメージを聞いたら、台湾から震災の寄付金をいっぱいもらいましたけど、現実的には台湾人との交流機会はなかなかあらず、これから台湾と福島の交流をますます盛り上げていきたいと期待しています。

交流会の最後、来年に大熊町で台湾祭りを開催したいという意見が出ました。福島県民に台湾の文化と美食を紹介し、両者の友好関係を深化できればと思いますね。その時、また大熊町に訪れたいです。

文：ワンワン

台湾、室外のマスク着用義務を解禁

▽台湾、室外のマスク着用義務を解禁（写真提供：中央社）

台湾中央防疫センターは11月28日に記者会見を開き、12月1日から室外のマスク着用義務を緩和すると発表した。域内の感染状況が落ち着きつつあることからの措置。王必勝総指揮官は会見中「12月１日はマスク着用義務がつけられてから555日目となり、これより快適に呼吸してほしい」と話した。

新型コロナウイルスが2020年に世界各地で感染拡大してから、台湾全域では中央防疫センターの指示により、マスクの着用義務がつけられている。しかし中央防疫センターによると、台湾域内の新規感染者数の減少が続き、経済活動と有効な防疫手段を慎重に議論した末、今回マスク規定の緩和を決定した。

一方、持病がある人、発熱や呼吸器疾患がある人には、室外や人の多い場所などでは引き続きマスク着用を勧めるほか、毎年恒例の年末や年越しイベントにおけるマスク着用義務について、中央防疫センターは感染状況をみて決定するという方針を示した。

また、室内のマスク着用義務には一部の例外を除いて引き続き維持すると発表。室内でマスクを外してもよいのは車を運転する時、運動、歌唱、写真撮影をする時、仕事やイベントで司会、講演、授業などを行う時、プールを利用する時などとなる。このほか、宴席でお酒を勧めることも解禁するとした。

王氏によると、規定に違反した場合は正勧告にとどめるが、故意や悪意と判断した場合は処分する方針だ。

てくてく台湾旅 83

松田義人(deco／編集者・ライター)

2023年こそ、台湾に再び行ける日が戻ってくることを願う

▽コロナ禍以前の台湾の銀行での看板。今はマスクを取ったら逆に入れてもらえないはずです。

今年は台湾・日本とも、再び新型コロナウイルスに翻弄された年でした

2022年、今年もそろそろ終わりを迎えようとしています。コロナ禍から２年が経過し、言い換えれば多くの台湾ファンの人が２年以上、台湾に行けていないことになります。

もちろん僕もそうで、以前このコラムでも書いた通り、2020年３月１日（まさにコロナ禍が本格化した時期）から長期取材で台湾に行くはずだったのをキャンセルしたため、もう３年以上も台湾に行けていません。

このときは、現地のレンタカー会社より「諸事情があり貸せなくなった」と言われ、行きの飛行機は飛んでも、帰りの飛行機が果たして飛ぶかどうか怪しいところもあり、泣く泣くキャンセルしたわけですが、結果的にこのときの判断は正しかったです。帰り乗るはずだった飛行機は１日１便となり多くの人が乗れなくなり、また台湾での徹底した感染防止によって、多くの商店などが営業をヤメたこともあり、台湾に行けたとしても、取材的には半分もできなかったからです。

新型コロナウイルスの感染防止について、台湾は世界から絶大な評価を得た模範的な国でした。しかし、今年の春以降は感染者が爆発的に増え、さらにその後の日本も、過去最多の感染者数が続々と更新されました。また台湾に行く日が遠のいた気になりましたが、再びグッとこらえるしかありません。

願わくば2023年こそ台湾に行ける日が戻ってくることを願っていますが、どうでしょうか。「コロナ禍は数年の問題ではなく、この状態がスタンダードになる」なんて恐ろしい見立てをする人もいたりして怖いですが、ただし台湾人・日本人とも健康が第一。感染防止策を最優先に過ごしたいものです。

いつか来るアフターコロナ。「変わらない台湾」を願っています

いつか来ると信じているアフターコロナの台湾ですが、ここで一つ心配なこともあります。アフターコロナによって、台湾が変わってしまうのではないかということです。古くから疫病と戦ってきた台湾ですので、新型コロナウイルス感染拡大を経て、衛生面をさらに強化し、従来の慣習や街の構造などを変えて、それまでグレーゾーンにあったような、それでも台湾らしい文化的なものも、「衛生的にする」ことで淘汰してしまわないかというのが心配です。

また、コロナ禍の３年弱は、同時に世界的に SDGs などのサステナブルな実践が推奨され始めた時期でもありました。すでに台湾でも脱プラスチックを目指し、例えばストローなどを台湾お得意のステンレスのマイストローに転じる動きなどもあったようですが、これが著しく進んで、例えば台湾ならではのシマシマビニール袋がなくなったり、漁師バッグがなくなったり、屋台の椅子やテーブルが全部サステナブルな素材に転じられやしないかと少々不安です。

仮にこうなった際、もちろん環境面では大きな効果・貢献はあるのでしょうが、しかし一方で台湾らしさがなくなり、世界のどこの国とも同じような状態になるのだとしたら、正直寂しくも思うのです。

まだまだ見えぬアフターコロナですが、これを機に改善すべきことは改善してほしいと思う一方、これに合わせて「台湾らしさ」「台湾ならではの慣習や文化」も、維持しながら新しい時代を目指してほしいと願うばかりです。

登録免許税的計算

日本法律停・看・聽　《本專欄內容由黑澤事務所提供》

轉讓不動產的所有權時，要徵收一種稅，名為「登録免許税」。税率因登記事由而異以及按不動產價格對應的税率計算。

①因繼承或共有財產分割而進行的轉讓登記：房地產價值 x 4/1000

②因其他原因辦理轉讓登記的，房地產價值x 20/1000

這時候，就要注意免徵房產稅（地方税法第348條第2款定義）的不動產登録免許税的計算方法。即使房產税評估值免税，登録免許税也不會為零。

這次，我們將簡単説明計算方法。

公共道路（地方税法第348條第2款第5項）屬於比較普遍的免税土地。關於公共道路的計算方法，相當於近鄰住宅用地價格的30/100作為認定標準。計算公式如下：房地產價格=「附近住宅用地每平方米的單價」×「本次轉讓免税土地面積」×30/100

那麼，如何知道附近住宅用地每平方米的單價呢？雖然有很多種，但主要有以下兩種方法：

1.市政府出具的評估證書上寫明附近住宅用地每平方米的的單價。

2.向市役所出示法務局指定周邊住宅用地的表格，申請固定資產評估證書，從而計算每平方米的單價。

以上哪一項都有必要向市役所和法務局確認。

公共道路以外，常見的還有由國家和都道府縣提供給官方或公共使用的固定資產（地方税法第348條第2款第1項），宗教法人轄區内的建築物和土地（第348條第2款）地方税法第348條第2款第3項）、墓地（地方税法第348條第2款第4項）等。

對於這些不動產，與公共道路的計算方法不同，按附近住宅用地的每平方米單價計算。計算公式如下：房地產價格=「附近住宅用地每平方米的單價」×“本次轉讓免税土地面積”如果包括免税房地產，則在計算登録免許税時要注意。

如果您對登録免許税的税率和計算方法有任何疑問，請隨時與我們聯繫。

本文作者：吉田浩之　黑澤事務所所長

托您的福，我們迎來了創業50週年
相続・贈与・登記・国際税務
黒澤合同事務所グループ
KUROSAWA GROUP
1972年創業
【司法書士】不動産登記、会社登記
【税理士】税務、会計、非常住居民的納税管理人
【土地家屋調査士】房屋新建・拆除、土地分劃・合併、測量全般
【公認会計士】事業計画・股價估算、向外資企業提供各項、服務的國際業務
人員招聘（台灣人歡迎）※詳情見下文
東京都中野区中野4-4-11
会長 黒澤 切記
社長 黒澤 功栄
kurosawa@kurosawa.gr.jp
https://www.kurosawa.gr.jp
大代表：03-3388-9638
中文服務專線：03-3388-2520
(程)

無量壽佛♪♪ 2023年【癸卯年】
歡迎安奉太歲灯·光明灯
每月農曆初一、十五日犒軍敬拜(上午11:00)
註:新年元旦日本大道院改為淨身、淨車・法會與扶鸞延期辦理
新年元旦【淨身行程令和5年1月3日辦理】｜時間上午9:00～
新年元旦【淨車行程令和5年1月4日辦理】｜下午1:00～
本宮備有接送車輛，有需要者，請在前一天事先聯絡。JR成田空港駅第二航廈出口35号對面
宗教法人 日本大道院純陽宮
〒289-0216千葉県香取郡神崎町植房950-1
TEL:0478-72-1068或1899　FAX:0478-72-1089
董事長　玄駿　　執行董事長　玄胡明信
交通アクセス
・JR成田線「下総神崎駅」からタクシー5分
・東関東自動車道「大栄インター」→国道51号成田方面二つ目信号右折神崎方面→県道110号→「純陽宮看板」左折
・国道356号→信号「神崎大橋際」より旧国道356号へ→信号「郡駐在所横」右折→「純陽宮看板」右折
←鹿島　東京
←香取　51号國道　成田
長太郎CC
純陽宮看板
110号線 神崎方面
宗教法人 日本大道院 純陽宮
下総神崎駅
國道 356 号
ＪＲ成田線

2022年地方選観察
台湾人ならではの地方選の実態

2022年地方選（写真提供：中央社）

11月26日に行われた「2022年台湾地方選」では、2018年に引き続き最大野党・国民党の勝利で収まった。与党・民進党の勢力圏が南部に縮まり、党主席を務めていた蔡英文総統が責任を取って主席を辞任した。民進党内では早くも蔡氏の後継者を巡る争いが始まる様相だ。

日本の報道機関は、選挙の結果直後から台湾選挙に関する記事を次々に発信し「選挙の結果は台湾人が中国の圧力に影響されたのではないか」など、様々な議論が交わされた。しかし台湾の地方選について「台湾人ならではの実態」がある。決して台湾人が対中国政策を緩和させた訳ではない。

事実1

地方選の結果は地方の実力者が決める

日本では政治家とみなされる公職を、結果的に親族が継承する世襲と見られるケースがある。一番有名なのは安倍晋三元総理の外祖父にあたる岸信介が、自民党総裁、外務大臣、総理大臣を歴任し、その政治遺産が長男・岸信和と娘婿・安倍晋太郎を経て、孫の安倍晋三と岸信夫に継承された経緯だ。

台湾でも同じような状況がある。彼らには日本の世襲制のように中央政府の官職に担ぐほどの実力が無くても、地方選ではかなりの影響力を持っている。例えば台湾の中南部に位置する雲林県では「雲林張家」と呼ばれる一族が、この20年間地方選を制している。族長の張麗善・現雲林県長は国民党籍を持ちながら、2005年に国民党を脱党して自ら立法委員選に出ても１位で選出された実績を残した。唯一対抗できる家族は民進党寄りの「雲林蘇家」で、両家は雲林県の地方選を巡って争いを続けている。

地方のいわゆる「名門」は、民進党あるいは国民党の党籍を持っていても、地方選において政党と個人の優位関係が逆転され、名門の協力を無くした場合、選挙に負けるまでに至る。なぜなら、地方の実力者と住民の接触は多く、長年にわたって議会を通じて住民の望みに応えており、生活面での満足度も向上させているからだ。こうした背景で、住民の投票意向は政党でなく候補者を決めるのだ。

事実2

若い世代が民進党から離れる

若い台湾人に国民党へのイメージを聞くと「老人と二代だらけ」と答えた比率が高い。2014年の台北市長で当時無党籍の柯文哲が国民党前主席・連戦の息子・連勝文氏を破って当選したのも、国民党の門閥政治に嫌がるのが原因と見られる。

時を同じくしたこの頃より、両岸関係が緊張状態となり、意識調査によると、自分が台湾人という比率も増えた。これを要因に、2016年と2020年の総統選において蔡英文氏が選ばれ、対米日融和路線に舵を切った。しかし、最近のネットでは「民進党は中国共産党にそっくり」「私は中国が嫌いだけど民進党も嫌いだ」などの言論が続出する。なぜ中国への嫌悪感を持ちながら、民進党への不信感も増えてきたか。原因はネットの輿論戦に関わる。台湾の各政党がネット上で情報発信や相手への攻撃を仕掛けているからだ。特に若い世代の支持者を多く持つ民進党にとってネットは欠かせないもの。しかし今回の選挙で、その輿論戦が「やりすぎる」との指摘もあった。

フェイスブックでは、民進党寄りのファンページが多数存在し、野党の候補者への攻撃を仕掛けている。攻撃の内容の正しさは問われず、この行動自体が嫌悪を招くのは確かな事実だ。その結果、一番攻撃を受けていた高虹安氏と蔣萬安氏が民進党の相手を下した。

これにより、台湾人が中国に嫌がっても、徐々に民進党と離れることがわかった。台湾人にとって「反中」の旗を掲げるのは、民進党に限らず、まだほかの選択肢があることも明らかにした。

以上の2点こそが台湾地方選の結果につながる。台湾人の中国への不満は一切変わっていなく、台湾の民意は引き続き反中国の立場を取り続ける。しかし民進党が最大の危機に直面しているのも確かなこと。

今回の敗選を真摯に受け止めて現実と向き合わなければ、2024年の総統選で3回目の政権交代は起こりうるだろう。

文：ワンワン

日薬大・実践社会薬学研究室が
マスクの着用について心理テストを実施
来春の師範大・国際学会で発表予定

研究発表予定者の沈さん（中央）、共同研究者の鷲崎さん（左）、多根井教授（右）

日本薬科大学実践社会薬学研究室（多根井重晴教授）らの研究チームは、着用マスクに関し、他人に与える影響などについて調査したところ、特に男子学生の場合、魅力的と考える色は『金』、似合っていると考える色は『青』であることを突き止めた。

そこで、薬学生約160名を対象に追跡調査したところ、本音を隠せる色は『黒』、落ち着いている色は『白』、ミステリアスな色は『紫』、似合っている色は『白』、魅力的な色は『桃』となったものの、他人から落ち着いていると思われる色については、選択色の順位に違いが認められ、さらに他人から魅力的と思われる色については表現できないとの回答が特徴的であったと結論づけた。

同チームの薬学部4年生・沈秀旼（シム スミン）さんは、「韓国で流行しているものが数多く、日本にも輸入されていることより、諸外国での調査をして消費者の皆さんの役に立ちたい」とコメントするとともに、来春、『2023運動休閒與餐旅管理國際學術研討會』で研究成果を口頭発表するとのこと。

一方、多根井教授は「新型コロナ感染症拡大を契機に、我々の生活様式もそれに応じて変化した。マスクの着用は、感染予防対策として推奨されるだけではなく、様々なマスクが市販されていることからも、これからはむしろファッションとして捉えることもできそうだ」とコメントした。

同チームの研究に、さらなる期待が膨らむ。

Information

（北九州）北九州国際漫画祭「台湾漫画史不思議旅行」
場所：北九州市漫画ミュージアム 5 階 企画展示室
時間：11/26～2023/01/23
主催：北九州市漫画ミュージアム

（東京）ファインテック ジャパン（台湾企業6社出展）
場所：幕張メッセ
時間：12/7～12/9
主催：RX Japan 株式会社

（オンライン）台湾食品ビジネスセミナー in 愛媛
場所：オンライン
時間：12/8
主催：ジェトロ愛媛

（オンライン）特許庁委託事業「海外知的財産権最新情勢セミナー：米国、台湾、インド、東南アジア編」
場所：オンライン　時間：12/16
主催：特許庁、ジェトロ

※新型コロナウイルスの今後のまん延状況等の社会情勢については、開催を延期する場合もあるかもしれません。

国際サポート行政書士事務所

台灣華裔的行政書士 中文,台語 OK

〇在留資格（VISA）的申請,更新,變更
技術・人文知識・國際業務,經營・管理,特定技能
家族帶在,日本人的配偶者等, 高度人才,技能 etc

〇永住 〇歸化 〇設立公司 〇國際繼承問題

☆生活上有問題, 歡迎隨時聯絡我☆

代表行政書士: 吳 宗俊(KURE MUNETOSHI)
電話:080-3721-1700 (請事先預約)
LineID: kuremunetoshi90
地址:東京都豐島區東池袋1-31-5-801

台湾人開的美髪室

- 整髪 ブロー 1,000円
- 洗＋吹髪 シャンプー+ブロー 1,500円
- 剪髪 カット 2,000円
- 染髪 カラー 5,000円
- 調色 メッシュ 5,000円
- 燙髪 パーマ 5,000円

※長髪燙、染、調色追加1000円
ロングヘアの場合はパーマとカラーとメッシュが千円を追加します。

千晶 Hair Salon

営業時間 10:00-19:00　電話予約制 090-3090-2988
東京都新宿区歌舞伎町2-45-5　新宿永谷ビル202室（東田 晶）

碧鳳水元宮

本宮宗旨、本宮の趣旨は、
祈福消災、厄難を払い除け、祝福をする、
指點迷津、迷津の指導（占いをする）、
批八字、祭改、四柱推命、厄祓い、
心靈改革、心の改め、
不欺不騙、欺くことなく、
不驕不傲、傲慢せず、不遜で、
正義取道、正義が尊き、
方為正道。正しい道である。
宮主　羅祝英

火曜日定休日

TEL:0426(67)7867　FAX:0426(67)7868
〒193-0834 東京都八王子市東浅川町537番52

ホテル	福岡ホテル	一棟ビル	宮原駅近歩３分	一棟ビル	蔵前ビル
価格：５００,０００万円		価格：１２５,０００万円		価格：７７,０００万円	
所在地：福岡市中央区 地下鉄空港線「天神」駅徒歩2分 地積：814.10㎡（246.26坪） 延床面積：3,376.73㎡（1,021.46坪） 構造：鉄筋コンクリート造陸屋造9階建 築年：2020年11月	 	所在地：さいたま市北区　利回り：7.17% JR高崎線「宮原駅」徒歩３分 地積：1,087.07㎡（328.83坪） 延床面積：2,850.12㎡｜延床：856.5㎡ 権利：所有権｜築年月：平成8年 構造：SRC造10階建て、鉄骨造立体駐車場 現状：満室賃貸中		所在地：台東区蔵前 都営浅草線「蔵前」駅徒歩1分 地積：345.22㎡（104.42坪） 延床面積：2,522.00㎡（762.90坪） 構造：鉄筋コンクリート造陸屋造8階建 築年：1983年7月	

㈱大三元　TEL:03-5917-0727　｜　担当FAF不動産コンサルタント　TEL:090-4748-8335　FAX:0422-246-233

京都華僑總會首辦太極拳活動
體驗與大地合為一體

大家專注跟著老師練習太極拳招式

活動紀念合影

【京都／綜合報導】京都華僑總會於11月3日在京都御所公園(日本天皇的居所)舉行了第一次的太極拳體驗活動，這次報名參加的學員共有20多位，從華僑總會的會員到中文教室的學員及一般的日本民眾都有。

教學老師是由就讀大阪體育大學研究所博士課程的潘政親老師擔任，潘老師畢業於台灣文化大學技擊運動暨國術學系，並榮獲2018年澳門全世界武術大賽優勝、2016年台灣全國多大專女子優勝及今年（2022）7月全國日本武術大賽第二名。

活動一開始時由來賓京都日台親善協會小島裕史會長致詞表示，雖然一直到前天都下著雨，但是今天能迎來這麼風和日麗的一天，非常期待這次的太極拳體驗活動。

接下來在京都華僑總會劉佳玲常務理事說明了幾點注意事項後，在潘老師帶領著大家做了30分鐘左右的暖身操後，學習了「八段錦」的八個招式的說明及動作指導，每位學員都非常認真的跟著動作進行，並在最後跟隨著潘老師在音樂及鳥兒聲的襯托下將八個招式串聯起來，整個氣勢如同與大地合為一體，非常感動。

當中有位參加的學員說曾經在台灣的公園與阿公們打過太極拳，這次的參加勾起了上次的回憶，希望今後京都華僑總會能夠再多辦幾次這樣有意義的活動。活動最後，大家除了集體合影外，並拿到由台北駐大阪經濟文化辦事處提供的精美杯墊，收穫滿滿的踏上回家的路。

日本關西媽祖會
舉辦台灣料理教室促進台日交流

台日友人齊聚一堂享用台灣美食

東大阪市會議員野田彰子擔任關西媽祖會顧問

關西媽祖會舉行台灣料理教室

【大阪／採訪報導】日本關西媽祖會11月24日於大阪市的關西媽祖會館舉行第一次台灣料理教室，由該會監事鳥居京子熱心指導參加者學習滷肉飯和紅豆湯圓等台灣料理，吸引近二十位日台朋友參加。

包括東大阪市會議員野田彰子，以及關西媽姐會會員及關西台胞等近二十人參加，在鳥居監事指導下，製作又Q 又好吃的手工湯圓和台灣滷肉飯，還有會長川野榮子準備的蘿蔔糕，和會員提供的三種手工製作泡菜，豐盛的台灣美味滿足了許久沒有回台灣的會員們的思鄉之情。

野田彰子市議員表示，感謝川野會長邀請，讓她有機會品嚐台灣朋友用心製作的台灣美食，渡過溫暖快樂的交流時光。台灣在她心中是第二故鄉，她會帶著台灣朋友的友誼和溫暖，繼續努力促進日台友好關係。

川野會長表示，感謝今天前來參加的台日朋友，在大家協助下，第一次料理教室圓滿成功，以後計劃每月舉行一次料理教室，並開放給所有台日朋友參加，希望促進台日交流，並增進在日台灣人的相互交流，讓關西媽祖會成為在日台灣人的心靈避風港和第二個家。

體驗台灣柑仔店的人情味文化!大阪弁天町
台灣華語教室舉辦「用九柑仔店漫畫免費展示會」

漫畫家阮光民老師線上粉絲見面會

大阪弁天町台灣華語教室舉辦「用九柑仔店漫畫免費展示會」

【大阪／綜合報導】11月3日是日本的國定假日-文化之日，在這天日本各地會舉行很多與文化相關的活動！讓大家可以在這天體驗不一樣的藝術文化。此外，這一天也同時是漫畫之日。僑務委員會備查的「大阪弁天町台灣華語教室」希望讓更多人可以體驗屬於台灣柑仔店的傳統文化，特別於11月3日起在大阪的台湾キッチン的二樓舉辦「用九柑仔店漫畫免費展示會」。

用九柑仔店是漫畫家阮光民老師以家鄉阿公所開的柑仔店為原型，內容主要是描寫主角俊龍國中畢業離開家鄉，北上完成學業並進入社會。直到有天經營柑仔店的阿公因病突然住院，為了不讓阿公辛苦經營的柑仔店被迫關店，所以俊龍辭掉工作返鄉後，發揮創意將柑仔店賦予新生命，並透過經營柑仔店，正視自己人生，進而衍伸出舊事物如何面對世代更迭及如何與連結它的人們一同發掘自身價值的故事。

大阪弁天町台灣華語教室的林美莉校長表示，這次免費展示會因為有「用九柑仔店」漫畫家阮光民老師大力支持及日本株式会社トゥーヴァージンズ及株式会社アミューズの共同協助之下，此展示會的現場所展出的內容除了漫畫「用九柑仔店」的日語版之外，同時也配合日語版內容一併展出台灣華語版本，以及其連續劇的劇照，並於會場播放用九柑仔店連續劇的台灣華語及日語版介紹影片，如此能更完整呈現「用九柑仔店」的故事，更希望可以藉此引起更多人能對於台灣華語的興趣！

此外，為了更真實重現漫畫中台灣柑仔店的場景，大阪弁天町台灣華語教室的陳洳豔老師特別從台灣添購了許多柑仔店裡面有的零食、童玩及展示物等等，希望能透過這些正宗台灣古早味的裝飾品與展示物，能讓來參觀的人可感受到阮光民老師想傳達的「古早味的柑仔店」，並能從中了解臺灣生活的樣貌。

以11月6日舉辦的漫畫家阮光民老師線上粉絲見面會為例，活動當天參加者們一邊聽阮老師說著漫畫「用九柑仔店」完成前的小故事及不為人知的內幕及漫畫翻譯家澤井老師說著翻譯時的體會，一邊品嚐著台湾キッチン為大家準備的蔥油餅、台灣茶之外，還體驗到台灣柑仔店的抽抽樂、戳戳樂及重現漫畫中的表情扭蛋等有趣的小遊戲！

這次粉絲見面會的參加者有多數是特別從東京、名古屋、奈良等地來參加的日本朋友，其中有數位參加者表示在這次的粉絲見面會中，透過大阪弁天町台灣華語教室彭聖元老師的即時口譯，學到不少台灣華語及台語，同時還能感受到不一樣的台灣漫畫文化及古早味柑仔店的魅力，真是收穫滿滿！

世華日本分會舉辦研修旅遊
推廣臺灣美食及進行臺日親善交流

台日親善交流懇親會合影

參加人員在秩父宮公園合影

【東京／綜合報導】世界華人工商婦女企管協會日本分會CEO學院美食學系及生活學系聯合於11月12日至13日於靜岡縣臺僑經營之旅館「富士美華」舉辦研修旅遊活動，讓學員於活動中學習到料理臺灣美食訣竅，並邀請靜岡縣政要出席晚間舉辦忘年會，進行臺日親善交流餐敘，深耕臺日民間外交，豐富的內容吸引學員踴躍參與，駐橫濱辦事處張淑玲處長及駐日本代表處僑務組宋惠芸應邀參加，共襄盛舉。

世華日本分會紀秋美會長致詞表示，這次是世華日本分會本年度最後一次活動，由美食學系及生活學系共同規劃，內容非常豐富，希望大家旅遊之際也能學習到東西，希望能帶給大家一個難忘的旅遊。

張淑玲處長致詞表示，世華日本分會在疫情期間捐助靜岡縣口罩等醫療物資，熱海市發生土石流災情時也慷慨解囊捐助協助救災，這次選在靜岡縣舉辦活動，以實際行動增進臺日交流，在此表達感謝之意。另靜岡縣也非常支持臺灣，今年7月靜岡縣議會全員通過支持臺灣參與WHO等國際組織，這次也很多為靜岡縣當地政要出席，顯見雙方關係良好，期盼臺日未來有更進一步之發展。

世華日本分會CEO學院美食學系特別介紹珍珠奶茶及炸雞排製作方式及訣竅，讓學員瞭解如何製作美味好喝的珍奶及如何將雞排炸得酥脆，另外，還介紹臺灣特有的洛神花特色，以及相關產品，隨後學員現場品嚐洛神花茶及奶茶，雞排也在午餐的時候讓學員享用，美食學系龍川媛系主任準備禮物給每位參加者，一解臺灣鄉愁。

晚間進行忘年會暨臺日親善交流懇親會，靜岡縣吉林章仁前副縣長、濱井卓夫靜岡縣議會前副議長等多位政要應邀出席與世華日本分會理事交流，世華日本分會還準備豐富的抽獎禮品，並以賓果方式及自己抽選獎品，炒熱現場氣氛。

隔天參訪秩父宮紀念公園及雕刻之森美術館，瞭解日本歷史及現代美學，生活學系尹世玲系主任規劃的充實又豐富的行程，讓學員收穫滿滿。

大阪台灣同鄉會交接
謝美香獲肯定接任第十三屆會長

王坤保會長移交印信給新會長謝美香

向明德處長頒發祝賀狀給新任會長謝美香

向明德處長頒發感謝狀給王坤保會長

【大阪／採訪報導】大阪台灣同鄉會於11月20日在大東洋餐廳舉行第十三屆會長交接會員大會暨懇親會。第十三屆會長謝美香在駐大阪辦事處處長向明德見証下，從第十二屆會長王坤保手中接下印信。

現場有駐大阪辦事處處長向明德偕僑務組課長楊慧萍，大阪府議會議員松本利明、神戶市會議員上畠寬弘、東大阪市議會議員野田彰子、僑務委員王輝生、日本台灣後援會會長陳天隆、大阪中華學校理事長連茂雄、林氏宗親會會長林錫璋、日本世華關西分會會長劉雯玲、欣華會會長李忠儒等各界貴賓及會員逾百人出席。晚會由名譽會長張種得帶領開幕乾杯。

向明德處長致詞表示，恭喜謝美香會長當選第十三屆大阪台湾同鄉會會長，也感謝大阪台灣同鄉會長期以來，協助駐大阪辦事處推動國民外交及日台交流。他對同鄉會有三個期許，一是希望每個月都能至少辦一次會員的交流聚會，二是希望多結識日本友人，融入日本主流社會。三是鼓勵台僑第二代加入同鄉會，使會務可以順利傳承。

向明德處長代表僑務委員會頒發感謝狀給王坤保會長，並同時頒發祝賀狀給謝美香會長。

王坤保會長表示，疫情影響使會務停滯一段時間，所以他委請謝美香會長先接棒會長，把會務整頓好之後，再交給下一任會長，希望理監事和會員們理解並且給予支持。

謝美香表示，在擔任過日本台商總會和亞洲台灣商會聯合總會的會長之後，再次回到大阪台灣同鄉會當會長，有如回到娘家一樣。謝謝所有投票給她的理監事，也謝謝沒有投票給她的，提醒她要做的更好，如同王會長所說，她接棒是為了整頓會務，然後再交給更優秀的下一任會長，希望所有會員能夠繼續支持她，讓大阪台灣同鄉會變成一個溫馨的台灣人娘家。

懇親會的氣氛十分融洽，會後每位會員還得到一份來自台灣的大禮包，內容有新竹米粉、松花皮蛋、豆腐乳等想念的台灣美食，最後在晚會在副會長林壽美致閉幕詞後圓滿結束。

自民黨青年局意見交換會
齊暢談台日雙邊關係發展

由自民黨舉辦的意見交流會，在自民黨本部召開

台灣留學生向鈴木副會長提問

黃組長在開幕儀式上致詞

【東京／採訪報導】自民黨青年局於十一月二十五日舉行與台灣留學生的意見交換會，互相分享對於台日交流等相關意見等，同時也安排留學生參觀自民黨本部各重要處室。本次活動規模盛大，台灣留學生與自民黨學生部的人出席踴躍，人數將近50人。此外，也有許多日本大型媒體前來採訪。

這次的意見交換會由青年局國際部長中曾根康隆擔任司儀，自民黨青年局局長鈴木憲和、自民黨學生部代表根本雄作、現任政調副會長鈴木馨祐專程出席。駐日代表處教育組組長黃冠超也陪同留學生們與自民黨的成員們交流。

開幕式上，早稻田大學台灣留學生會會長潘亮廷代表致詞時表示，台日關係非常重要，過去兩年的疫情，台灣從日本獲得了疫苗支援，而台灣也向日本提供防疫物資，彼此攜手度過危機，象徵著兩國攜手向前的精神。

鈴木副會長也以「台灣有事等於日本有事」為題發表演說，談到了台灣與日本未來將一起面臨的問題。鈴木副會長提到，自己與台灣非常有緣，祖父過去就曾經到台灣工作過。根據電腦多次模擬，當台海發生衝突時，中國極有可能為了防止美日同盟支援台灣，因此同時進攻在日美軍與日本自衛隊。許多通往日本的船隻也會經過台灣海峽，有可能成為被攻擊的對象。中國與台灣、日本不同，並非民主國家，因此領導人決策的模式與我們不同，須謹慎觀察。

如何對抗蠻橫強權？他表示，今年爆發的烏俄戰爭為何烏克蘭能堅持下來，就是國內團結一致的結果，呼籲彼此要加強合作。他期許在維繫台日關係上，在場的台灣留學生以及自民黨學生部的同學，能夠肩負這份責任。

在演講後，針對鈴木副會長的演講內容，以及未來台日兩國如何繼續增進雙邊關係，台灣、日本兩方的學生代表都積極舉手發言，向副會長與在場來賓提問，場面熱絡。之後，由留學生與學生部代表舉行了會談，分享彼此對雙邊關係的看法。

意見交換會後，自民黨青年局也安排留學生們參觀自民黨本部的各項設施，看到電視或新聞中才會出現的場景，學生們都非常興奮，紛紛擺出各式各樣的姿勢拍照留念。 在場的留學生表示，能以外國留學生的身份請教台日關係相關問題之外，自民黨也安排參觀總裁辦公室、黨內大老開會的會議室、記者會場地，讓人意猶未盡，也期望未來台日之間的交流能夠越來越頻繁。

在日學人團體冬季聯合講座
一探台灣摩斯發展史

冬季聯合演講會紀念合影

【東京／採訪報導】國建會日本聯誼會、留日大學教師聯誼會於11月20日舉行冬季聯合演講會，這次特別邀請到明治學院大學西原博之教授以「摩斯漢堡與台灣－迎接30年的台灣摩斯」為主題，分享到摩斯漢堡在台灣的經營發展史，演講會後則安排懇親會讓大家互相交流。

國建會日本聯誼會會長張銀漢表示，國建會每年都會有夏季和冬季兩場演講，並且會安排不一樣的講師來演講，有台灣的也有日本的講師，這次因為受到疫情影響，規模縮小，才決定兩個會一起辦聯合演講會，也希望未來有更多年輕人加入，繼續傳承國建會的優良歷史。

留日大學教師聯誼會會長詹秀娟則表示，在疫情前留日大學教師聯誼會每年都會有秋季旅遊，但因為疫情已經有兩年沒舉辦，今年除了上次的線上演講外，就是與國建會合辦講座，而近年來台日關係良好，年輕學者逐漸增加，在她擔任會長後就延攬不少新的教師和學者，希望大家可以持續在學界活躍，也讓會能持續傳承下去。

駐日代表處教育組組長黃冠超也出席共襄盛舉，黃組長也提到，要感謝前輩和學長姐們的努力，為在日學人團體打造出很好的交流環境，也希望接下來的年輕人持續增加，並秉持前輩們留下的珍遺產和精神，讓團體發揚光大，也讓團體更為茁壯。

西原博之教授首先分享摩斯漢堡的發展史，並提到1990年摩斯漢堡在台灣以合資的方式開設分店，並介紹了台灣的合資方東元集團，也詳細說明摩斯漢堡在台灣發展的經歷，以及台灣摩斯經過30年發展後形成的經營特點等，特別是面對不同的文化，該如何排除語言和其他異文化的障礙等。

演講會後大家都紛紛表示內容非常精彩，在問答時間也都踴躍發問或發表意見，接著也安排了懇親交流會，並讓新加入的成員和每個出席來賓發表或介紹自己，成功促進在日學人間的交流。

名古屋市盛大舉行
「台灣、台中夜市」

掛滿象徵「日台友好」燈籠的台中夜市會場

【名古屋／採訪報導】名古屋市的久屋大通公園從11月3日起到11月6日止，盛大舉行「台灣、台中夜市」，吸引大批人潮前來品嚐正宗台灣小吃。主辦單位執行委員會委員長藤田秀和表示，台中市和名古屋市是友好城市，台灣美食和文化深受民眾喜愛，未來將逐年擴大「台灣、台中夜市」的規模，使該活動成為名古屋秋天的「風物詩」（代表性風景）。

駐大阪辦事處處長向明德偕僑務課長楊慧萍，涉外課長曾文琪，及日本台灣後援會會長陳天隆，世華日本關西分會會長劉雯玲，四國華僑總會會長上島彩，以及大阪台灣同鄉會等多位僑領及關西地區僑胞等人，特地租巴士從大阪來到名古屋參加台中夜市活動。當地的留日名古屋華僑總會會長石貴容和副會長楊敏政也到場支持。

向明德處長致詞表示，台中市和名古屋市於2019年締結觀光友好城市協定後，在各個分野進行廣泛的交流，2020年開始舉行的「台灣、台中夜市」活動就是代表之一。目前台日之間締結友好姊妹關係的城市鄉鎮超過140個，這個數字即使在疫情期間，也透過線上簽約儀式陸續增加中。台灣有一句諺語是「見面3分情 」，很高興台日兩國的邊境政策，自十月起放寬，希望未來有更多的日本友人可以實際飛到台灣，體驗真正的台灣人情味和台灣美食。

今年共有26家來自日本全國各地的台灣料理和台灣甜品店參加，還有台灣雜貨、台灣茶的販賣，以及台灣夜市常見的遊戲攤位，華航和愛知縣日台交流協會、留日名古屋華僑總會也大力支持，現場掛滿寫著「日台友好」的彩色燈籠，重現台灣夜市氛圍，活動連續四天可望吸引上萬人，顯示台灣美食已成為促進日台文化交流的重要橋樑。

在日留學生趣味扮裝
齊聚萬聖午會

大家圍著桌子挑選扮裝道具，準備開始記憶賽

參加者們各展扮裝精神，為萬聖午會留下紀念時刻

【東京/綜合報導】「2022萬聖午會- 扮裝趣味競賽」於10月30日在新宿區柏木地域中心展開。由台灣留日東京同學會主辦，在關東地區逾50名台灣留學生的踴躍參與下圓滿落幕。

台灣留日東京同學會為關東地區最大留學生會，為定期舉行活動提供在日台灣留學生交流平台及生活協助。此次適逢萬聖佳節，應景展開趣味競賽的活動，一同齊聚為萬聖佳節增添氣氛。

萬聖午會以團體趣味競賽為主軸，融入「扮裝」精神元素，設計出四大競賽主題：複合式兩人三腳、不給糖就搗蛋、記憶扮裝賽及障礙接力賽。萬聖節必備「不給糖就搗蛋」及「扮裝記憶賽」以新穎的遊戲方式，考驗參加者反應能力及短暫記憶力，使其能在激烈競爭下，充分體驗萬聖節的箇中滋味。「兩人三腳」及「障礙接力賽」則以動

各項競賽中也設有休息時間，讓參加者享用台式地瓜球及在日前輩提供的珍珠奶茶，在萬聖節也能嚐到熟悉的台灣味以解思鄉之情。此外，活動中也可以見到不少參加者以用心裝扮之姿前來，除了常見的鬼怪造型外，也有反串飾演或是扮演荷包蛋等角色，為活動增添不少風采。

今年同學會已舉行各種大大小小活動，以春季迎新為首，端午料理教室、暑輔桌遊等，為每個季節添上些許風味。萬聖午會做為秋季活動的開始，11月則有秋之旅，12月耶誕特別活動等等，讓在日台灣留學生的生活增添色彩，並促進個人及團體之間的交流機會。

參加者們各展扮裝精神，為萬聖午會留下紀念時刻態活動方式，促進各隊伍之有效溝通及團隊合作，讓參加者在歡樂過程中彷彿回到高中運動會一般，和新朋友組建默契一起衝向終點取得勝利。

日本參院新氣象
參政黨新科議員神谷宗幣專訪

神谷宗幣議員（左）與台灣新聞社長錢妙玲（右）

【東京／採訪報導】日本民眾過去對於政治的參與度普遍較低，今年7月參議院選舉的投票率為52.05%，雖然比起上屆48.80%高，但卻是參議院選舉歷史第四低，為此日本新興政黨參政黨致力於喚起民眾對政治的關心，這次選舉中，參政黨副代表間事務局長神谷宗幣在比例代表區當選，台灣新聞特別專訪這位新科參議員，一探參政黨的理念，以及其對台灣的關心。

神谷宗幣畢業於關西大學法科大學院，在2007年時當選大阪吹田市市議員，2013年時在網路開設頻道「CGS」，以談論７政治、歷史、經濟等為主題，2019年則與其他理念相同的人開設Youtube頻道《政黨DIY》，並在2020年4月與渡瀨裕哉、筱原常一郎、松田學等人成立了參政，並在今年的參議院選舉獲得１席，神谷宗幣在比例代表區當選。

神谷在受訪時表示，參政黨成立的目的就跟名字一樣，希望日本國民能夠參與政治，特別是日本的投票率僅有50%，再加上政黨和政治家沒有清楚地向國民說明政治，也沒有清楚地傳達情報，媒體方面也傳達很多錯誤的訊息，導致國民沒有辦法做出正確的判斷，為此參政黨積極以就是更加清楚傳達情報，讓日本國民能想參與政治為基礎，進行各式各樣的活動。

對於台灣年輕人積極參與政治，神谷也是給予讚許，他表示，做為民主主義的國家，年輕人對國家未來的關心是很重要的事，但是這必須在教育上下功夫的，在與台灣年輕人交流時，都能感受到台灣年輕人受的教育和抱持對政治關心的意識。

提到台灣年輕人參與政治的轉捩點，不少人會想到2014年的太陽花學運，當時神谷也親自從日本到台灣參加，他提到，當時最讓他印象深刻的事非常有組織在運營學生運動，除了抗議外，後方包括食物等物資的支援都很完善，不同於日本偏情感性，或是其他暴力型的抗議，這樣如此大規模，且有秩序和完善支援的抗議是日本沒有的。

另外，參政黨理念是「保護日本的國家利益，為世界創造大和諧」，以新國家建設的「10個支柱」，作為參政黨政策的指導方針，內容涵括社會、經濟、教育、科技、國防、外交、內政、環境等各方面。

神谷也指出，日本畢竟是二戰的戰敗國，但有美國強力穩固才得以持續維持，事實上我們成為一個國家，應該自己守護自己國家。面對記者提到中國國家主席習近平連任一事，神谷也說，這有可能會提升東亞局勢的緊張，就像是日本常說的「台灣有事」，這種風險是有可能存在的。

神谷表示，要維持東亞的和平，提升日本的國防力是不可或缺的，為了不引起戰爭，取得平衡是必須的事，但若中國變強，就會導致平衡破壞，因此日本的責任常重大。神谷也認為，為了東亞的平衡，日本必須現在開始就盡快變強。

對於記者提問到對於日本和台灣經貿交流密切的看法，神谷則提到，當然他認為應該繼續深化雙方的經濟交流，不過台灣每人平均的GDP已經快追上日本，所以除了保持應有的交流外，日本和台灣也能成為良性競爭的夥伴，雙方可以在互相交流的同時，也能進行良性的競爭，促進彼此成長。

而關於與台灣的交流，神谷也提到，在他29歲成為吹田市市議員後，第一個海外交流的就是台灣，當時第一次來的時候，就花了一星期從北到南跑透透，除了促進了雙方的運動交流，也前往八田與一建造的嘉南大圳和烏山頭水庫參訪等，也拜訪過了李登輝前總統與時任台南市市長、副總統賴清德。

神谷也分享，在他與前總統李登輝會面的時候，當時李前總統跟他說，日本要重拾信心和自尊，我所認識的日本是更強的日本，過去的日本人更加努力，而像神谷這樣的日本政治家都還很年輕，才30歲多，應該要有更大的抱負才對，這段話讓神谷感到開心同時也覺得很遺憾，一直到現在都還留下深刻的印象。

玉山法律相談所

日本法上的「手付金」

（本文由玉山法律事務所提供）

日語的「手付金」，是指日本民法557條、以及宅地建物取引業法第39條上的「手付」，與中文口語上的「訂金」的概念略有不同，期讀者區別。筆者多見不動產業界對於「手付金」之誤解，特於本文說明「手付金」的基本概念，期讀者留意。

民法

（手付）
第５５７条　買主が売主に手付を交付したときは、買主はその手付を放棄し、売主はその倍額を現実に提供して、契約の解除をすることができる。ただし、その相手方が契約の履行に着手した後は、この限りでない。
２　第５４５条第４項の規定は、前項の場合には、適用しない。

收取「手付金」時買賣契約即成立

不動產交易的實務上，常於簽約交涉之前，先向買方收取1成左右的金額。事先收取一部分金額一事本身並沒有問題，只要買方願意即可。該金額如果不為「手付金」的話，買方仍可自由選擇是否與賣方簽約。換而言之，如果賣方開出的交易條件(分期付款日、違約金、交屋期、登記時期等等)太嚴苛，則買方可自由選擇不買，此時，事先交付的金錢則應全數退換。

問題是，許多業者於收取此金額時，以賣主名開出「但し、　（物件名）　の手付金として」的收據。此收據之寫法實屬外行，建議改寫為「但し、　（物件名）　に係る売買契約に向けての預り金として」，而且除非賣方實際收取到該金額之外，不應以賣方名義開立收據。「向けての」表示契約成立前，而「預り金」則表示只是由仲介業者暫時保管之意。

因為，日本法的解釋上，所有的「手付金」皆具有證明契約成立之效果（所謂的「証約手付」之效果）。換而言之，如果收取的金錢，自認為是賣方的「手付金」的話，即使買方尚未簽署買賣契約書，雙方之間的買賣契約也已經因「手付金」之交付而被證明已成立。因此，今後關於付款日、交屋日、登記日、不動產附屬物之歸屬與處理費用、或是違約金的設定等相關交涉，如果內含對買主不利的內容的話，買主只要不同意也可強行要求賣方履約。

證明不動產買賣契約之成立不一定需要契約書

不動產業界似乎也常誤解，以為只要白紙黑字的買賣契約書不存在，只交付了手付金的買方也無法強行要求履約。這個想法是錯的。買方只要可以特定物件與買賣金額，並證明契約已成立一事，即可向法院請求履約相關事誼（所謂「所有権移転登記請求」、「建物退去請求」、「建物明渡請求」等等皆可請求）。

通常，買方只要拿出該物件之廣告文宣，並拿出賣主名義的「但し、　（物件名）　の手付金として」的收據即舉證完畢。而且，因為這是賣方很難贏的案件，願意幫買主提訴的律師很多，甚至容易找到以低價格辦案的律師。

最痛的地方是，因為這類案件屬於賣主違約案件，因此買主還可以要求損害賠償。或許有人以為，只要將已收取的「手付金」償還，並加賠「手付金」同額的賠償金即可（所謂「倍返し」。民法557条之「倍額を現実に提供」）。不過因為買方於提訴時顯已「着手」履約，因此日本民法的該條款已不適用（「相手方が契約の履行に着手した後」）。此時，買方的提訴費用（指買方因提訴而繳納給法院的各種手續費用；律師費不算提訴費用）最後也都可以全數向賣方求償（但律師費無法求償）。

簡單來說，賣方之後只好等著挨打。百害而無一利。

結語（關於事先收取「手付金」一事）

業界通常希望買方先行交出一部分金額以表態確實具有購買之意。這個立場基本上沒有任何問題，實屬正當。不過，業者應明確認知，該金錢只是讓買方表示購買意願之意，而且因為買賣契約尚未成立，即使最後交涉不成也必須全額返還，不可以沒收訂金的方式來要求買方吞下一切無理的條件。業界長年誤解的原因，依筆者看法實出於此壓力交涉惡習之背景。

如果業者在收取訂金之後，誤以為買方拒絕簽約即不用把訂金還給買方的話，反而會造成上述之法律糾紛。而且，通常只要買方可確保賣方以沒收訂金之要脅方式的證據的話，除非賣方可舉證該金錢為優先交涉權等代價之外的話，基本上賣方已經毫無勝算了。

支援地方再生
NPO 舉辦福島台灣交流活動

與會者大合照

link る大熊一帶已經是本地居民的重要據點，機能豐富

【福島／採訪報導】以復興福島為目標，由NPO法人「元気になろう福島」主辦，旨在促進台灣與福島交流的「福島前進 福島台湾ビジネスフォーラム」活動，在福島順利舉辦。台灣在今年2月正式開放包含福島等日本五縣的食品，台日交流跨出重要一步，也讓這次的活動格外受到注目。

2020年由一群熱血的台灣年輕人組成的「福島前進團」，為了消除台灣人對福島縣的安全疑慮，兩年來邀請了許多台灣人深入福島，實際觀察當地的復興情況，致力於台灣與福島的交流。他們的熱情獲得了日本經濟產業省「地域傳統、魅力等發信支援事業」的支持，每次舉辦活動也吸引了許多日本媒體的爭相報導。

此次活動舉辦的地點位於大熊町的多目的交流設施「linkる大熊」，大熊町過去曾受到震災影響，不得已撤出了全町的居民，近年政府允許部分居民回歸，大熊町也逐漸恢復繁榮。

「linkる大熊」作為本地的復興象徵，是最近才啟用的設施。內部設施極為豐富，除了有大型會議空間，另外還有研修室、廚藝教室、音樂室外，甚至還有完善的健身設施，裡面還有2021年東京奧運選手曾使用的機械，相當豪華。

活動邀請了來自福島本地及台灣各自約10家企業，針對福島的物產、企業的訴求等舉行商業交流會，會議在下午一點順利舉行。會議內容主要分為三種，分別是「福島物產輸出的現狀與課題」、「福島物產在台灣的推廣戰略」，以及由前產經新聞台北支局長吉村剛史主持的「福島與台灣的未來構築」。

開場致詞中提到，因為今年台灣開放福島食品進口，為了促進台灣與福島的交流，也期待未來能吸引台灣觀光客造訪福島，特別舉辦了此次活動，向台灣的大家推銷福島獨有的魅力。

福島縣議員先崎溫容率先分享福島物產輸出的現狀與課題。他提到福島雖然不像青森的蘋果、山梨的葡萄一樣有名，但福島實際上是個物種多元，產量位居日本前五的農業大縣。福島是日本農業競賽的常勝軍，接近九成的產品獲得金賞的肯定，相當具有競爭力。

東日本大地震後，福島物產蒙上了「核食」、「不安全」的陰影。為了確保福島食品安全無虞，日本政府對福島出口的食品採取了遠比國際標準嚴格的檢驗機制。為什麼遲遲無法推廣出去？議員認為形象包裝以及消費者的心理是兩大原因。「雖然知道檢驗合格，但就是不想吃」是福島物產面臨的問題。

如何扭轉形象？他提到媒體的力量。透過媒體提供正確資訊、在SNS上的分享情報，邀請民眾走訪福島，實際體驗福島的生活、食物，增加對福島現狀理解的人群，慢慢打開市場的知名度。

NPO福島台灣經濟文化交流協會理事長吳廷中分享自己對福島物產在台灣推廣的戰略，認為關鍵在向海外發送福島物產以及福島觀光情報的重要性。他首先回顧了「福島前進團」過去兩年深入福島受災區訪問的影片，以及在台灣、日本兩地舉辦實體活動的照片。

他以民調數據與台灣媒體對福島觀光的報導，指出台灣民眾對於開放福島食品與對福島的興趣，正在慢慢提升。對於對台灣輸出，吳廷中認為事前的市場調查、宣傳非常重要。為了獲得台灣民眾的信任，對檢測的嚴格要求與品牌塑造絕不能馬虎。

如何提升福島在台灣的品牌形象？他舉出如可以與知名YouTuber合作，拍攝實際走訪福島的影片，「福島前進團」也持續在網上發送福島的相關資訊，增進台灣人對福島的了解。最後，總結了幾點可以發展的方向，包含了宣傳作業、產品市調與確保合作管道。

最後，吉村剛史先生主持的兩地未來構築議題上，邀請了台灣、日本兩方的代表，討論福島吸引觀光客的策略，以及尚待改進的問題，討論氣氛踴躍。 交流會結束後，主辦方舉行了晚餐懇親會，邀請所有人參與。與會者幾乎全員參加，現場日文與中文交錯，一起享受了愉快的時光。

台日漫畫交流突破
台灣漫畫展前進日本北九州市漫畫博物館

【北九州／採訪報導】北九州市漫畫博物館是日本知名漫畫博物館，文化部駐日台灣文化中心與國立台灣歷史博物館首次與該館合辦「台灣租書店與漫畫的奇妙旅程」特展，向日本民眾介紹台灣漫畫的百年發展史。11月26日舉辦展覽開幕典禮，文化部政務次長李靜慧及國立台灣歷史博物館館長張隆志特地赴日出席，駐日本代表處台灣文化中心主任王淑芳、駐福岡辦事處處長陳銘俊、北九州市副市長西田幸生及北九州市漫畫博物館館長田中時彥等台日貴賓共同向日本各界推薦台灣漫畫。

台灣文化中心自2019年起與北九州市洽談駐村合作，今年首次促成台灣漫畫家柚子、PETER MANN獲選自11月7日至12月5日赴北九州市駐村。該中心為結合台灣漫畫家駐村計畫，去年11月邀請北九州市漫畫博物館與國立台灣歷史博物館合辦本展，歷經一年多的籌備，台灣漫畫歷史展今日在漫畫大國日本的知名場館北九州市漫畫博物館盛大開幕。

文化部政務次長李靜慧致詞時表示，日本漫畫陪伴了許多台灣人童年生活，對許多台灣讀者及漫畫家而言，日本漫畫可說是台灣人民生活記憶的一部分，這次是台灣文化部首次在日本漫畫博物館辦理台灣漫畫展覽，同時也是台灣文化部第一次選送漫畫家到日本駐村，對台灣漫畫歷史意義重大，可說是台日漫畫交流史上的重要里程碑，希望日本朋友們能透過本次展覽認識台灣漫畫的魅力。她另表示，漫畫是影視及文創作品IP的火車頭，台灣文化部很重視漫畫產業的發展，除整備漫畫產業環境，也積極幫台灣漫畫家尋找舞台，同時規劃設置國家動漫博物館典藏展示台灣漫畫，用漫畫開啟台灣跟世界的對話。

北九北州市副市長西田幸生表示，本次展覽是由台日策展人共同規畫，展出內容非常耐人尋味，希望日本民眾都能藉由本展認識台灣租書店與漫畫的歷史。北九州市漫畫博物館館長田中時彥細數這幾年跟台灣的漫畫交流事蹟，感謝文化部長期在日本推動台日漫畫文化交流。今年是北九州市漫畫博物館開館十週年，在此時機展出台灣漫畫主題展特別具意義。

文化部政務次長李靜慧開幕後受訪時表示，透過本次與北九州市漫畫博物館的合作，希望今後擴及與日本其他漫畫博物館的多層面交流，另外，台灣國家漫畫博物館今後也將納入國際漫畫家交流，不只台灣漫畫家到日本駐村，未來也考慮將邀請日本漫畫家到台灣駐村，透過漫畫家的線條，描繪台灣的故事。

展覽一景

展覽吸引不少人前來

台灣文化中心近年積極在日本推廣台灣漫畫，2020年與文策院合辦「台灣漫畫夜市展」、2021年辦理「謝謝日本彩稿展」暨「漫畫有聲音展」，廣受日本好評，參展台灣漫畫陸續售出日本版權。就連近3年的台灣文化中心摺頁都是邀請漫畫家繪製，今年更促成台灣漫畫家首次在日本駐村及首次在日本知名場館展出台灣漫畫，用漫畫跟日本朋友對話，逐漸在日本引起台灣漫畫熱潮。本次展覽由國立臺灣歷史博物館國家漫畫博物館籌備小組策展，以「租書店」為主題，爬梳台日漫畫的交集與歷史脈絡，從日治時代的台灣租書店談起，乃至戰後武俠漫畫風潮、審查制度下的漫畫及21世紀數位時代下租書店所面臨的挑戰，同時呈現精采的當代台灣漫畫，讓日本大眾對台灣漫畫有更多認識。另外，現場也展出台灣駐村漫畫家柚子、PETER MANN在駐村期間中繪製的漫畫作品。

本展將於日本北九州市漫畫博物館展出至明(2023)年1月22日。 台灣文化中心希望藉由立體、多層次的台灣漫畫在日行銷策略，搭建台灣漫畫在日本的展銷平台，讓日本民眾深度認識台灣漫畫，進而提高台灣漫畫產值。

僑務委員長童振源專訪
「僑務工作4.0」大解析

僑務委員長童振源

【東京／採訪報導】中華民國僑務委員會委員長童振源自上任以來，推動一連串的僑務工作改革，實現「僑務工作4.0」，不僅結合國內外資源，加速數位轉型，也讓僑委會與僑胞之間的聯繫不受國界、時間地點等阻礙，時逢童委員長訪日，台灣新聞社特別專訪童委員長，帶領大家深入了解僑委會的工作內容。

童振源委員長表示，僑務工作分兩個部分，一個是政策面，一個是實務面，政策面在學術上的經歷有助思考，以及未來架構上的構思，但在實務面必須要精確地落實，因此過去派駐泰國的經驗，對推動僑務工作上有很大的幫助，在泰國僑界相當多，如何去服務大家，同時也是大家在幫忙代表處，在泰國15萬個台僑，很多工作都是僑胞在幫忙，所以一開始也能感受到僑界對代表處推動工作有很大的幫助，甚至是對國家有很大的幫助，

童委員長也提到，在認知到僑界的重要性時，也會發現代表處人手有限，台灣來的職員不論是在語言，或是任期屆滿的輪調，都會讓推動工作出現斷層，再加上需要跨部會的資源等，所以怎麼樣克服語言、網路、資源等的限制，就必須透過數位化來解決，第一個是在打造了13個LINE數位帳號，並訓練了10多個同仁的泰語，這樣的方式不僅能服務僑胞，也能打入當地社會，且服務的內容也能擴大到醫療、教育、觀光，並整合國內各部會和當地單位機構，建構起網絡，讓聯繫可以克服時空差異，即時溝通。

童委員長說，第二就是扮演槓桿支點，由於預算有限，很多都是必須仰賴各部會支援，這種情況下如果各部會各行其是，整個資源就會分散，所以我們要想辦法來發揮最大效益，像是在旅展時請交通部提供攤位，宣傳教育和代表處臉書等，到國際書展時，也跟文化部申請單位，宣傳觀光教育臉書，這樣不論是在教育、觀光、臉書等都可以宣傳，且一年到頭都有展的話都可以宣傳。

此外，童委員長也說，對內也要整合，像是在新建的大使館大門到領務大廳間，打造觀光走廊，宣傳台灣22個縣市觀光，再加上推動教育觀光、宗教觀光等，另外還有在國慶活動舉辦展示會、台灣歌曲盛宴等，讓代表處成為資源之一，這就是所謂槓桿支點，運用各部會、運用內部、台灣和泰國的社會能量來推動。

童委員長表示，第三個就是在泰國的時候，我跟日本駐泰大使用餐，當時提到日本投資泰國最多，台灣第三，但台灣人數有15萬最多，而日本大使回雖然日本只有6萬8千人，但每個人都有透過JETRO聯繫，因為整個日本是大企業體系，派人出去都是跟政府有聯繫，萬一發生意外或撤僑，大家都一起行動。

相對台商，童委員長指出，台商是以中小企業為主，甚至是微型企業，雖然可能成長不錯，但未必跟政府有聯繫，未必參加商會，雖然有15萬名僑胞，但經過3年期間的努力接觸，最多只有2千人經常接觸，這樣的情況下未來該如何擴大服務就成了課題，也沒辦法把能量擴大，這些都是在派駐泰國時的心得。

回到台灣接任僑務委員長後，童委員長表示，我把僑務工作分成四種工作模式，第一個僑務工作1.0，是「走進僑社與見面交流」，直接的感情交流、協助服務等，並透過僑胞的幫忙，擴大僑務工作。第二個僑務工作2.0是「數位服務與平台建立」，當時在僑委會第一份公文就是批准成立「全球僑胞服務數位平台」，至今已有38個帳號，這樣不論在世界何處要聯絡僑委會都不用錢，還能用通話、語音、文字等，而且不管哪種服務都能及時處裡，甚至還可以三方聯結，協助聯結其他單位等，這樣不僅是數位整合窗口，也是數位聯繫平台。

童委員長提到，第三是「槓桿支點與優勢對接」，運用各部會的資源、台灣民間的資源、海外僑界的資源、各國或國際資源等，我們跟外交部和教育部也有長期密切的互動，兩年前因為歌唱比賽文化部一同加入幫忙，後來也因為增加客語，客委會也進來幫忙，用這樣的方式各部會的資源就會整合進來辦同樣的活動，甚至透過英語服務營邀請海外僑界學生到台灣教英文，這樣還能讓原委會、地方教育局、學校等一同聯結合作，

童委員長也說，未來會透過跟國防部合作舉辦國防戰鬥營，增加全民國防，也會與海洋委員會合作，邀請僑青登上東沙群島，不僅是有生態教育意義，也能宣示領土的效果，對國家認同和生態保護的意識都有很大幫助。另外還有民間聯結，像是與慈濟基金會簽訂合作備忘錄，針對醫療、急難救助、華語教育合作。

童委員長也舉例，去年不僅成立全球僑台商產業升級技術服務方案，透過台灣研發單位來協助台商產業升級等，以及全球僑台商產學合作方案進行人才培育或合作，另外還有中華民國美容醫學會、台灣醫學會等都來表達想與僑胞合作，這些都是台灣民間的資源，且遠比政府還大，這些資源都是無限的，也是很好的契機。

童委員長也提到，再來就是要海外的能量合作，過去也辦了5場海外投資商機，邀請駐各國大使和僑台商領袖解釋投資商機和環境，幫助台灣企業了解海外環境，這就是透過槓桿把台灣的資源優勢發揮到最大，反過來也能發揮僑胞的優勢來協助台灣，僑委會就在中間當作支點。

僑務工作4.0則是「智能僑委會」，童委員長說，是智能聯結與服務，因為不管是槓桿支點或是其他的僑務工作，都需要同仁來做，但是同仁有限，58人在海外，總部也才約262人，加起來約300人，是有限的能量，因此為了擴大能量，就需要建立智能僑委會，知道僑胞在哪裡、累積僑委會服務僑胞的資訊，同時未來也要精準服務、跟國內部會、民間單位聯結。

童委員長表示，因此第一需要僑胞有個數位帳號，類似數位身分證字號，以後更僑委會互動的資料都可以串聯，像是在個人同意的基礎上，未來有交流服務時，可以透過僑胞參加過的參訪團，僑委會都可以提供資訊，也能終身提供服務，例如你對台灣疫情關切，面對台灣防疫政策，僑委會就能主動提供資訊做參考。

另外，童委員長也提到，智能僑委會也能做為決策輔助，像是在東京僑胞具體人數和地點沒辦法掌握的話，在要推動僑務工作時，派遣的人數、僑胞的需求都沒辦法知道，容易造成決策盲點，因此透過智能僑委會就能容易了解大家的需求，透過你的參與、透過你的反應，更容易來做決策輔助。

童委員長也分享，也能夠過智能來做到精準服務，不會有僑胞對綠能科技有興趣，卻被拉去看其他產業，會導致浪費僑胞的時間，也浪費資源，此外有智能也能幫助台灣企業前往海外，或是幫助健保了解海外僑胞人數和服務需求，包括未來做各種民間、部會資源的運用都能有效並達成目標。

童委員長也提到，從僑務工作1.0到4.0都是透過在泰國服務的經驗，學習體會出來後，逐步去引進，推動過程中也需要慢慢磨合、建立，因為還有法規、技術、預算、人才的限制，所以是經過兩年才推出來，都需要一個一個去鏈結，鏈結之後就會變成網絡，資源就會擴大，更有助於我們去做智能僑委會，讓僑務工作更加完善，對國家發展和僑界需求有更大的幫助。

對於問及目前台灣的國際情勢，僑胞該如何協助政府，童委員長則表示，僑胞過去已經幫助非常多，以日本來講，僑胞在這邊做了很多很多的僑民外交，跟當地的主流社會互動，說明台灣的狀況，包括跟主流媒體發聲，甚至跟政府官員及國會議員做說明，都對政府有很大的幫助。

童委員長提到，日本能夠對台灣那麼友善，事實上每位僑胞都是我們在當地的民間大使，能夠協助讓當地國了解台灣、建立友善的關係、建立友誼，這些都是僑胞們的努力，在未來我們也希望有更多僑胞投入這樣的行列，特別是在生活面上，讓每個日本人看到台灣人在這邊的生活，像是公益之類等。

童委員長也說，就需要將這些訊息透過適當的方式呈現出來，像是他派駐泰國期間，很多僑胞做善事都不對外宣揚，為善不欲人知，但還是要讓當地更多媒體、更多人知道台灣的善行，所以透過新聞志工報導或僑務組讓當地媒體報導，讓當地人知道台灣的形象。

童委員長也分享，僑委會成立了國際青年親善大使，透過年輕人使用當地語言來幫台灣做行銷，目前全世界已經選出18位，日本也有1位，希望未來更多日本的僑青朋友能夠參加，讓台灣的訊息和發展現況、優勢，透過當地的年輕人，對日本人、對世界發聲。

希望僑胞更進一步扮演產業鏈結，或者各領域合作的重要角色、重要橋樑、重要平台，我相信很多僑胞已經在做了，但是我希望更進一步，因為只有形象宣傳的話，未來鏈結的力道還是有限，我希望更實質，教育、經貿、文化、觀光、農業、醫療、科技，從好幾個面向來鏈結，並更加強化，特別是僑委會現在有推出相關的合作和服務的方案，像是全球僑台商產業升級技術服務方案，可以透過僑胞來與當地交流，又或者是產學合作方案，跟大學之間做鏈結，文化方面也是如此，像是文化訪團等，都希望透過這個方式跟當地做更多交流，並介紹給主流社會，會讓雙邊的鏈結與網絡能夠更加緊密、強韌，有助於雙邊關係的強化。

不僅是前面列出來的，也包括企業對企業也可以，如果台商也些聯結的協助，對企業、日本、台灣，甚至是台商有幫助，特別是台商懂當地的文化和語言，也懂當地的社會網絡，有特別的關係等，這個對於整個台灣跟日本民間聯結會有很大的幫助，最後還是要感謝僑胞們所做的貢獻。

亞總睽違已久在日舉辦
場面浩大700人共襄盛舉

紀念合影

【東京／採訪報導】第三十屆亞優台灣商會聯合總會於11月30日舉行第二次理監事會，這次也是繼2014年後，亞總會議再度於日本舉行，一共吸引700多人參加，不少貴賓也專程從台灣赴日共襄盛舉，場面非常盛大。

這次出席的貴賓包括立法院院長游錫堃、台灣日本關係協會會長蘇嘉全、駐日代表謝長廷、立法委員林靜儀、溫玉霞、邱臣遠、江啟臣、吳斯懷、林昶佐、李德維、僑委會委員長童振源、陸委會副主委邱垂正，以及財團法人生物技術開發中心董事長涂醒哲、中華經濟研究院研究員王國臣博士、海華文教服務基金會吳明穎等人。

亞總總會長陳五福在開幕儀式致詞時提到，亞總已經有了30個年頭，遇到很多困難，但有理監事的團結一致和努力奉獻，才能走過這30年，也要感謝歷屆名譽總會長和監事長的付出，才有亞總那麼優良、有典範的平台，也希望亞總不是只有30年，今天是一個新的開始，讓我們一起邁向100年。

陳總會長也分享自己的想法，他表示，30年前台商朋友拿著一個行李箱走遍世界，開創新版圖，一個人走得很快，找尋著企業藍圖，但現在要改變想法，現在是一群人在一起，不僅能走得更遠，也要慢慢地走，將台商總會的核心價值和理想目標繼續傳承下去。

駐日代表謝長廷在致詞時則說，去年台灣跟日本貿易往來去年達到853億美元，打破過去的紀錄，台積電在熊本設廠不但受到歡迎，日本政府也補助了8000億，能有那麼好的關係，都是靠台商的打拼，雖然台日沒有邦交，但在自然災害時互相幫助，就像是家人一樣，也是友好的最高境界，可以做為世界的典範。

台日關係協會會長蘇嘉全則提到，過去30年來，亞總每屆總會長都像巨人一樣，把眼光看得非常遠，腳步也跨得非常寬，思考著如何凝聚台灣的力量，如何讓政府配合台商在世界擴展商機，也期許陳五福總會長繼續引領台商總會，為企業或台灣整體貿易環境來向前邁進。

立委林靜儀在致詞時則說，在疫情後重新的產業布局，或是淨零排碳都要與國際趨勢接軌，都還需要全球各地的台商朋友幫忙，不只台積電是護國神山，所有台商也是台灣的護國神山，讓台灣在世界上扮演重要的角色。僑務委員長童振源則讚賞陳五福總會長和執行團隊，是他就任以來見過最盛大的亞總會議，也希望亞總在陳總會長的帶領下，能繼續壯大僑界，也壯大我們台灣。

陳五福總會長致詞

立法院長游錫堃也出席這次活動

世界台灣商會聯合總會總會長黃行德也稱讚目前不僅有增加韓國成為亞總的觀察員，未來還會加入印度，可見陳總會長積極幫世界總會開拓版圖的決心，也把亞總帶到全新的境界。

開幕儀式後，緊接的是以「商展・交流」為題的專題演講，隨後午宴則由日本台灣商會聯合總會總會長俞秀霞宴請，俞總會長也說，今年是日總創立10周年，也是亞總第30屆，面對日總十年有成，亞總三十而立，我們感到非常榮幸，也希望在這重要的歷史里程碑時，能繼續努力為台商先進貢獻。

午宴結束後就是第二次理監事會議，另外也安排了亞總青商會與僑務委員長童振源對談，晚上則是立法院晚宴，院長游錫堃也特別到場，除了準備豐富的佳餚外，晚宴中還安排了各式各樣的演出，以及準備了五層蛋糕，為11月的壽星及僑委會九十周年慶祝，讓現場的氣氛熱鬧不已。

台灣新聞社主辦日台工作商業座談會
僑委會大家長童振源驚喜出席

日台工作商業座談會盛大舉行

錢社長致贈紀念品給到場嘉賓

【東京／採訪報導】由僑務委員會指導，台灣新聞社主辦，一般社團法人日進人材協會協辦，11月27日在東京邀請在日本開展事業的台灣人，舉辦「日台工作商業座談會」，分享台灣人在日本工作、經商的甘苦談。座談會資訊刊出後受到熱烈歡迎，門票瞬間秒殺。

僑委會委員長童振源、財團法人生物技術開發中心董事長涂醒哲、中華經濟研究院研究員王國臣博士、海華文教服務基金會吳明穎董事長賢伉儷，以及僑務委員大山青峰特別出席與會。

此次座談會，特別請到僑委會大家長童振源委員長、財團法人生物技術開發中心董事長涂醒哲、中華經濟研究院研究員王國臣博士、海華文教服務基金會吳明穎董事長賢伉儷、僑務委員大山青峰，以及駐日代表處僑務組組長謝延淙、副組長宋惠芸作為貴賓出席，現場有超過五十多位優秀在日台灣人才共襄盛舉，場面熱絡。

座談會一開始，由台灣新聞社錢妙玲社長發表歡迎詞。她表示，年輕人一直是台灣人在海外一股重要的力量，從委員長上任以來對年輕人的發展也非常支持，台灣新聞在舉辦活動時也很常受到僑務組的支援，真的非常感謝。錢社長接著說，有很多年輕人經常跟她分享全新的點子，透過這次活動，讓大家可以上台彼此分享，在日本這段時間酸甜苦辣的各種回憶。台灣新聞社一年會舉辦至少兩次與年輕人的聚會，期待大家未來能繼續讓僑委會與台灣新聞社成為聯繫的橋梁。

再由黃總編輯向在場來賓介紹僑委會的資訊。僑委會面向所有海外台灣人以及認同台灣的海外人士，提供其在創業、生活、子女教育，以及與台灣交流的相關業務，鼓勵海外同胞在國外有任何困難時，可以尋求僑委會支援。黃總編也提到，本報即將刊登專訪僑委會童委員長的報導，歡迎有興趣的來賓可以到本報網站上閱讀。

童振源委員長在致詞中，提到許多台灣年輕人在世界各國大放異彩，僑委會也推出許多計畫，希望能夠支持、培育台灣年輕人在海外發展，也透過競賽、選舉親善大使，用當地語言向各國人推銷台灣魅力。他指出，僑委會致力於產學合作，為台商提供技術升級，創造產業價值。僑委會及僑會也提供獎學金，支持年輕人進一步學習。他向在場來賓表示，這些計畫希望吸引僑民參與、投入僑務，也代表台灣需要海外僑胞協助台灣在海外推廣，共創雙贏未來。

緊接著，以「投資台灣生技醫療 建構台灣大健康產業護國神山群」為主題，涂醒哲董事長與現場來賓分享，提到大家對台灣生技醫療產業不夠了解，但台灣的生技研發力世界前五，政府投入許多資源扶持產業發展，雖然還比不上半導體的產業，不過已經取得長足進步，未來可期。他分享了目前大健康產業的現況，表示日本是大健康產業龍頭，希望透過僑胞與日本建立合作管道，未來能像半導體產業一樣，使台灣成為大健康產業鏈重要的一部分。

王國臣博士以「海外僑台商經營動向與投資環境調查」為主題，跟現場來賓報告僑商投資前景，以及整個投資大環境的分析。他表示為了增進理解各國台商現狀，研究院接到僑委會委託，透過數據來分析台商在當地的經營狀況、該地政治局勢等大數據，創造台商經濟動能指數，除了提供給僑委會外，也會分享給台商，讓他們知道目前的投資環境為何。

在問答環節中，童委員長回答來賓問題，提到如何與政府建立聯繫，他表示僑委會花了兩年建立了i僑卡，也有官方LINE帳號，僅需要透過簡單的步驟，就能讓雙方建立聯繫。台商可透過參與台商會等組織，希望大家能團結合作，台灣人一起攜手度過難關。

貴賓致詞結束後，現場首先拍攝大合照，並歡送童委員長一行離開。隨後則是在場年輕人分享各自甘苦談，報告者有英特爾營業本部部長Oliver Chuo、剛來到日本一個月的茆盛文、人一株式會社的Michelle Ann Chang都分享了自己的故事，獲得許多共鳴。

座談會結束後，舉行了懇親會，由僑務委員大山青峰先生帶領大家乾杯，並向來賓說明了僑務委員的職能，懇親會順利舉行，大家開始享用美食，彼此熱絡聊天，場面溫馨熱鬧。最後，由本社副社長林德偉主持了閉幕儀式，感謝今天所有人的熱情參與，整場活動劃下圓滿句點。

81886.shop
日本と台湾の情報と美食関連を提供する

81886 SHOP 日台生活館

お歳暮～2023謹賀新年
おせち料理と台湾料理

¥38,000(税込) 送料込み

冷凍

①【おせち】豊寿

料理長おすすめ!目にも鮮やかな二段重。ロブスターはもちろん、ずわい蟹やキャビアなどが詰まった贅沢なおせち。是非ご賞味ください。ずわい蟹やロブスター、キャビアが大人気の豪華おせち。兼昌イチ推し!

¥28,000(税込) 送料込み

冷凍

②【おせち】楽寿

バラエティーにとんだ食べごたえのある和洋中の三段重。大ぶりのロブスターが彩りと豪華さを演出します。お子様からご年配の方までご家族みんなで美味しく食べられる和洋中おせち。

¥18,000(税込) 送料込み

冷凍

③【おせち】幸寿

お正月に欠かせない定番の一品をお重いっぱいに盛り付けました。海老チリや中華クラゲなど、新たな一品が加わった三段重。お手頃価格が人気の三段重!

¥9,800(税込)

冷凍

④【おせち】5寸3段

お手頃価格が人気の三段重!お正月に欠かせない伝統食材を詰め込みました。和風、洋風、中華風折衷の食材を彩り良く盛り付けました。おせち購入初心者の方にもおすすめです。

¥4,980(税込)

冷凍

⑤【おせち】5.5寸1段

海老、鱈子、いくら、伊達巻、数の子など、代表的なおせち20品が詰まった1人前おせちです。お手頃価格なので一人暮らしの人にもおすすめのおせちですよ!

¥18,000(税込) 送料込み

冷凍

⑥中華おせち料理セット 9品3~4人分(麻油雞)

①醤牛肉②蜜汁叉燒③滷豬脚2個④台湾ソーセージ⑤焼売4個⑥宮廷獅子頭2個⑦紅燒牛肉⑧XO醤海中宝⑨麻油雞

¥16,800(税込)

冷凍

⑦中華おせち料理セット 8品3~4人分

①醤牛肉②蜜汁叉燒③滷豬脚2個④台湾ソーセージ⑤焼売4個⑥宮廷獅子頭2個⑦紅燒牛肉⑧XO醤海中宝

¥7,480(税込)

冷凍

⑧台湾佛跳牆 4人分

高級乾物を使用し、様々な具材の旨味を閉じ込め、至高とも言える濃厚な高級スープ。

¥3,500(税込)

冷凍

⑨燻製ダック 1羽

台湾古くからの製法で、台湾茶を使って、味付けし燻製してから仕上げます。

¥1,500(税込)

冷蔵

⑩【台湾食堂-即食坊】大根もち 1本 約650g

在来粉を多く使用したもちもちとした食感のシンプルな味わいです。お好みで醤油をかけてお召し上がりください。

¥1,200(税込)

冷蔵

⑪【台湾のお母さん】大根もち 1本 約650-700g

大根の甘みとえびの風味が特徴の大根もちです。

※第三者機関Intertekによる検査結果(2022年8月)　※同一炊飯器の通常モードと糖質カットモーの炊飯100gに含まれる糖質量(デンプン)比較